

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-5

<19週> 麻疹 - 過去5年の同時期と比較して定点当たり報告数がかなり多い / その他最新動向

<4月> 性感染症・薬剤耐性菌・結核について



注目すべき感染症
P.6

<麻疹> 第19週の報告患者総数は1,641、定点当たり報告数は0.55



病原体情報
P.7

患者から分離・検出された病原体報告 - 咽頭結膜熱 / 無菌性髄膜炎 / 手足口病 / 感染性胃腸炎 - ロタウイルスおよびSRSV / インフルエンザウイルス



速報
P.8

アデノウイルス7型の分離状況 - 新潟県



海外感染症情報
P.9-10

香港で鶏からインフルエンザA(H5N1)ウイルス検出 / アカプルコでのヒストプラズマ症 - 疫学調査結果と持続する患者発生 / 他



感染症の話
P.11-14

E型肝炎
経口伝播型非A非B型肝炎とよばれてきたウイルス性の急性肝炎で、わが国では輸入感染症として近年発生がみられている



読者のコーナー
P.15

香港のインフルエンザA(H5N1)について



グラフ総覧(19週)
P.16-22



グラフ総覧(4月)
P.23-27



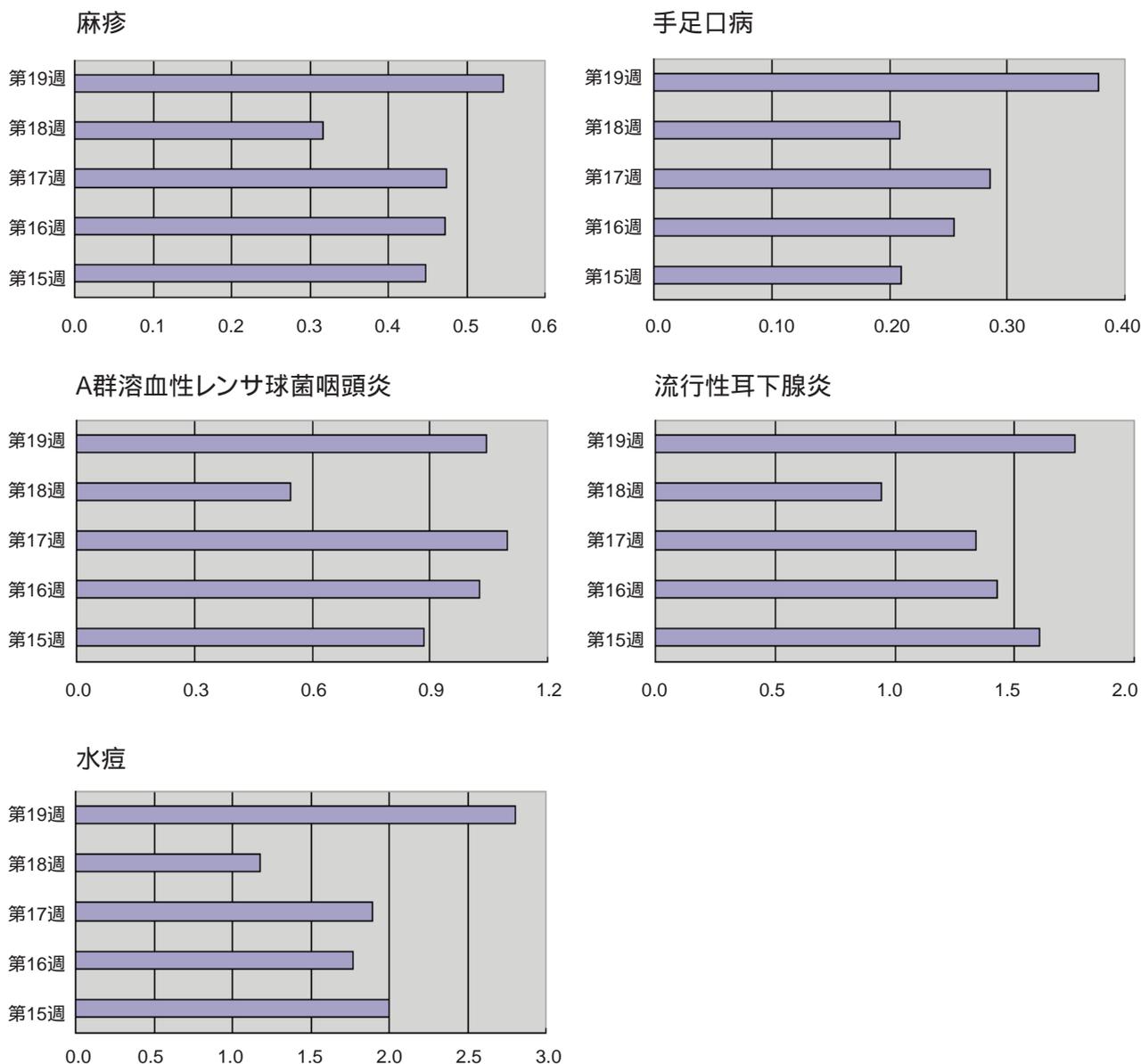
4月のデータ
P.28-31



19週のデータ
P.32-39

最近の注目疾患－5週間の動き

連休明けでいずれの疾患も前週より定点当たり報告数が多くなっている。例年の傾向から、いずれの疾患もここしばらく定点当たり報告数の多い状態が持続することが予想される。



(注) グラフの横軸は各疾患の定点当たり報告数(報告総数/定点総数)を表す。疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意。

4月コメント

性感染症について(5月11日集計分)

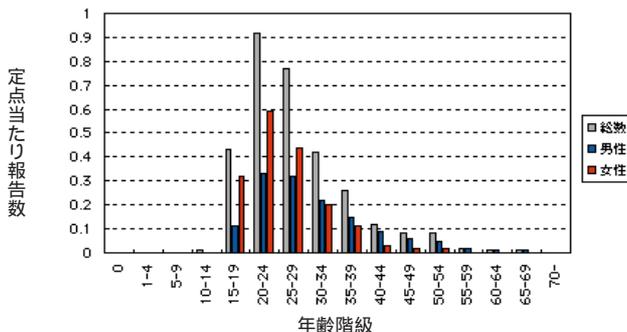
2001年4月の月別定点当たり患者報告数は、性器クラミジア感染症が3.14(男1.39、女1.75)、性器ヘルペスウイルス感染症が0.75(男0.31、女0.44)、尖形コンジロームが0.40(男0.20、女0.20)、淋菌感染症が1.53(男1.29、女0.24)で、4疾患のうち、男性では性器クラミジア感染症および淋菌感染症、女性では性器クラミジア感染症が多かった。いずれの疾患も前月に比べ減少しているが、クラミジア感染症、淋菌感染症、および尖形コンジロームの報告数は、前年同時期に比べて高い水準に位置している(23～26ページグラフ総覧参照)。

定点当たり報告数を年齢階級別に比較すると、いずれの疾患でもピークは20～29歳にあったが、性器ヘルペスウイルス感染症では50代以降の高年齢層からも一定の割合で報告されている。全体の男女比は、性器クラミジア感染症(図1a)で1:1.26、性器ヘルペスウイルス感染症(図1b)で1:1.44、尖形コンジローム(図1c)で1:1.03、淋菌感染症(図1d)で1:0.19で、淋菌感染症では男性の占める割合が高い。淋菌感染症を除く3疾患では、若年齢層ほど女性の報告者数が多い傾向が認められた。(4月の性感染症定点総数は905)

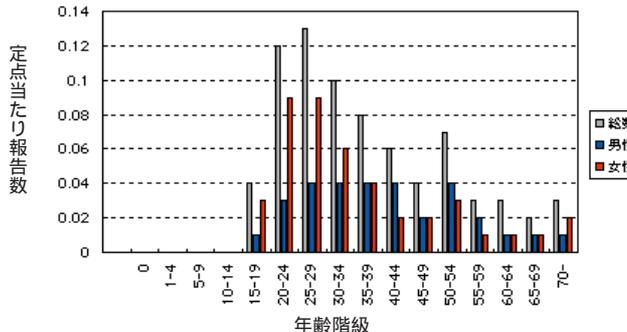
感染症新法が施行された1999年4月以降について、本発生動向調査で得られる各性感染症の報告数の男女比の推移を図2に示した。平均値は、性器クラミジア感染症では1.29、性器ヘルペスウイルス感染症では1.28、尖形コンジロームでは0.80、淋菌感染症では0.19であり、全体的にもほぼその近辺で推移しているが、性器ヘルペスウイルス感染症及び尖形コンジロームでは微増傾向が見られる。

【注】各性感染症の月別定点当たり報告数グラフの1999年3月と4月間で生じたギャップ、および本発生動向調査で得られる患者報告数の男女比については、本週報2000年第46号4ページを参照されたい。

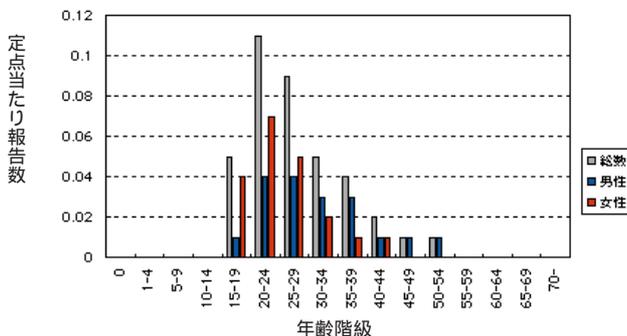
a. 性器クラミジア感染症



b. 性器ヘルペスウイルス感染症



c. 尖形コンジローム



d. 淋菌感染症

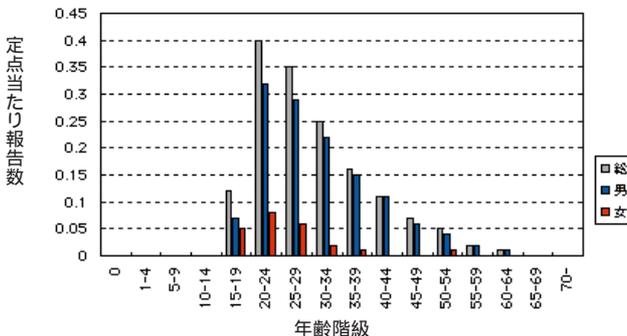
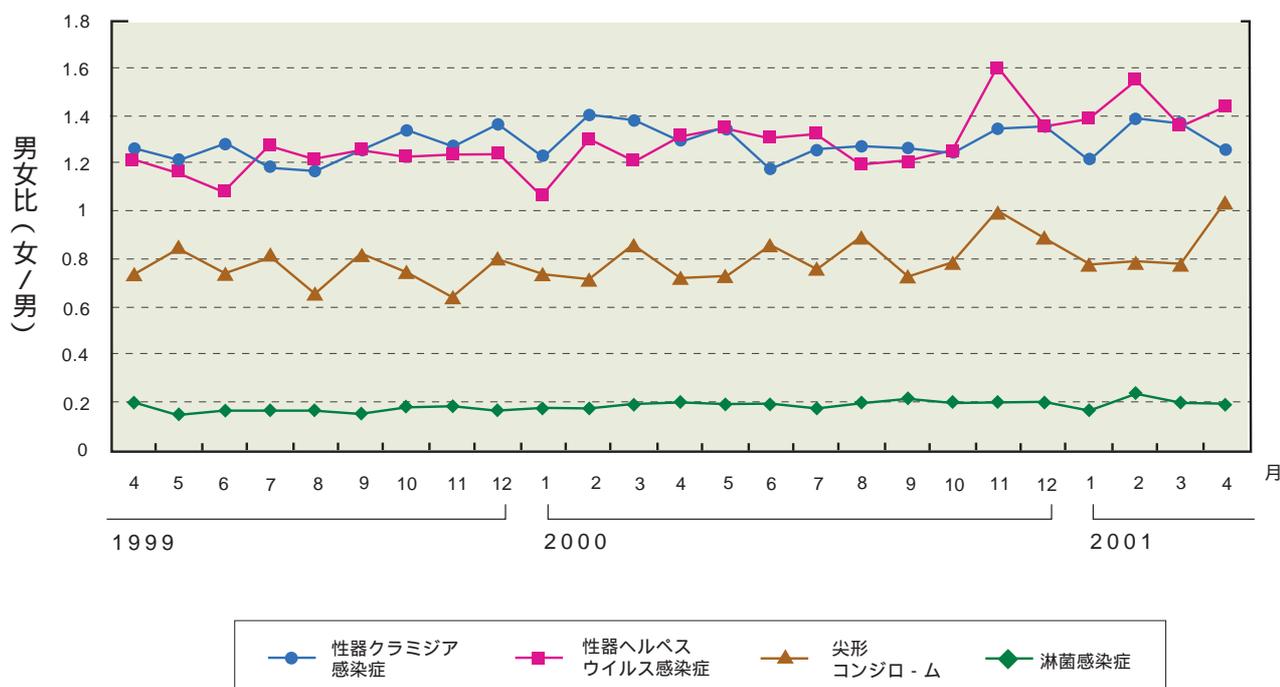


図1. 性感染症の年齢階級・性別グラフ

図2. 感染症発生動向調査における性感染症の報告数の男女比



薬剤耐性菌について (5月11日集計分)

【注】 内の+、-は、前月に比し定点当たり報告数のそれぞれ増加、減少を表す。

4月の基幹定点総数: 445.

4月の定点当たり報告数:メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症 3.3(-)

ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症 1.0(+)

薬剤耐性緑膿菌感染症 0.07(-)

年齢階級別:MRSA感染症.....0歳、1~4歳と高齢者に多く、報告数の64%は65歳以上。

PRSP感染症.....1~4歳が最も多く、全体の約4割を占める。

薬剤耐性緑膿菌感染症...高齢者に多く見られ、全体の約7割が65歳以上。

結核サーベイランス月報 (5月21日集計分)

4月の新登録患者数は2,754人、活動性肺結核患者は2,261人(うち喀痰塗抹陽性患者は1,020人)であった。

また、新登録患者数に含まれない(統計的には別掲扱い)マル初*は565人、非定型抗酸菌陽性者数は208人であった。

*マル初...結核の感染が強く疑われ発病予防のための治療を受けている者であって、正確には結核発病者ではない。

コメントについては、結核研究所の結核発生動向調査結果報告(<http://www.jata.or.jp/tbmr/tbmr.htm>)をご覧ください。



注目すべき感染症

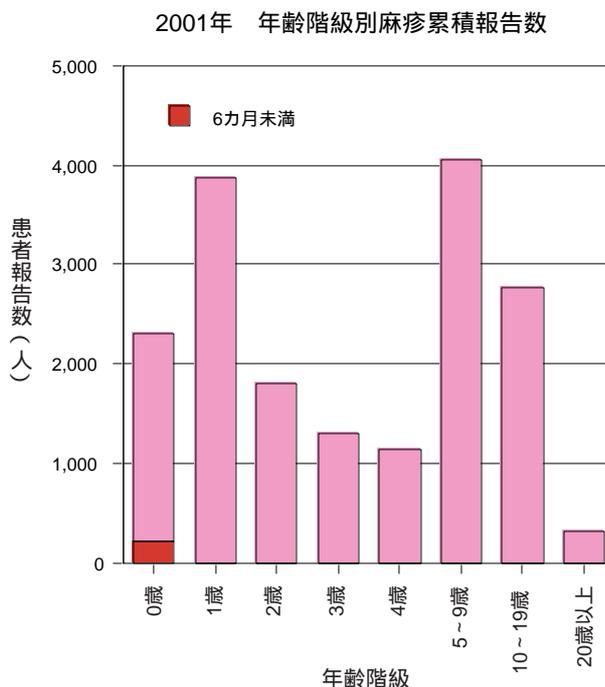
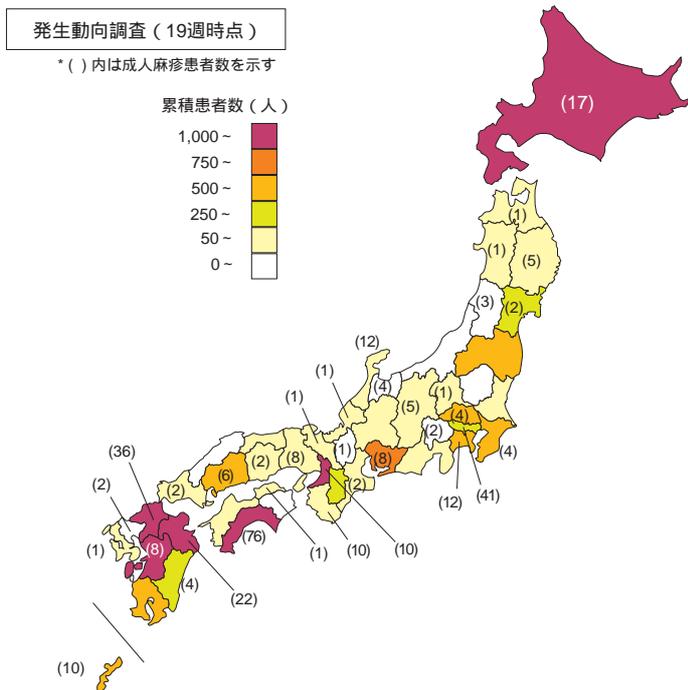
麻疹流行状況

2001年は当初より高知県、奈良県、九州地方などで流行がみられ、3月に入って北海道でも患者数が急増し、過去5年間と比較して定点当たり報告数がかかなり多い状態が続いている。

2001年第19週(5月7日～5月13日)の全国定点医療機関からの麻疹報告患者総数は1,641で、定点当たり報告数は0.55である。2001年第1週からの累積患者数は17,603、性別内訳は男9,544、女8,059とやや男性に多い。累積報告数の年齢階級別では1歳未満2,304(うち6カ月未満214)、1歳3,867、2歳1,814、3歳1,312、4歳1,144、5～9歳4,063、10～19歳2,769、20歳以上330となっている。1999年4月より施行された「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(以下感染症法)」に基づく感染症発生動向調査では、小児科定点から報告される麻疹患者は18歳未満の小児であるが、小児科を受診する成人麻疹患者もあり、実際はこれらの症例が小児科定点を通じて報告されている。

また、上記で報告される麻疹とは別に「成人麻疹(18歳以上)」という項目を設けてサーベイランスを行っているが、これらの症例は基幹病院定点からの報告であり、多くは入院を要するような比較的重症例であると考えられる。2001年第1週から第19週までの成人麻疹累積報告数は325(昨年同期113)、年齢階級別で多いのは、20～24歳(115)、20歳以下(83)、25～29歳(76)などである。

厚生労働省感染症発生動向調査警報・注意報発生システムによれば、麻疹流行警報が北海道の10保健所、大分県の8保健所、高知県の6保健所など87の保健所で、注意報は大阪府の13保健所、神奈川県9保健所、愛知県の7保健所、千葉県と東京都の6保健所など100の保健所で発生している。





病原体情報

*グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)からの引用です。

咽頭結膜熱患者から分離されたウイルス

2001年(2001年5月17日現在報告分)

本年、分離報告されたウイルスは、アデノウイルス1型4件(長野県2、広島市2)、2型2件(長野県1、広島市1)、3型25件(長野県11、岡山県、広島市、宮崎県各2、札幌市、東京都、埼玉県、滋賀県、奈良県、兵庫県、神戸市、愛媛県各1)、4型13件(兵庫県11、新潟県2)、7型6件(新潟県6)、19型1件(広島市1)である。

無菌性髄膜炎患者から分離されたウイルス

2001年(2001年5月15日現在報告分)

本年、分離報告されたウイルスは、ムンプスウイルス18件、エコーウイルス(E)7件(11型2、30型2、7型1、14型1、18型1)、B群コクサッキーウイルス(CB)6件(1型2、5型2、3型1)である。

手足口病患者から分離されたウイルス

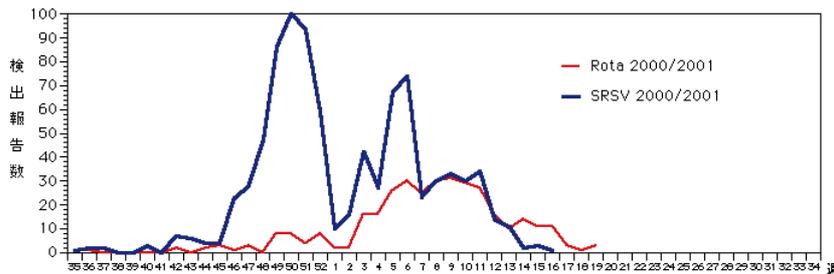
2001年(2001年5月18日現在報告分)

本年、分離報告されたウイルスは、エコーウイルス2型5件(大阪府5)、コクサッキーウイルスA16型(CA16)3件(長崎県2、宮崎県1)、エンテロウイルス71型(EV71)3件(鳥根県3)である。

感染性胃腸炎 2000/2001シーズン ロタウイルスおよびSRSV検出報告 (2001年5月18日現在報告分)

今シーズンのロタウイルスの検出は351件、SRSVの検出は889件報告されている。最近では、ロタウイルスは第18週に石川県1、第19週に新潟県3、福井県1、SRSVは第16週に愛媛県1が報告されている。SRSVは過去2シーズンと同様に、第50週のピークに加えて、第6週にも滋賀県などからの報告増加により2峰性のピークとなっている。

週別 SRSV & ロタウイルスの検出報告数、2000/2001シーズン
(病原微生物検出情報: 2001年5月18日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。



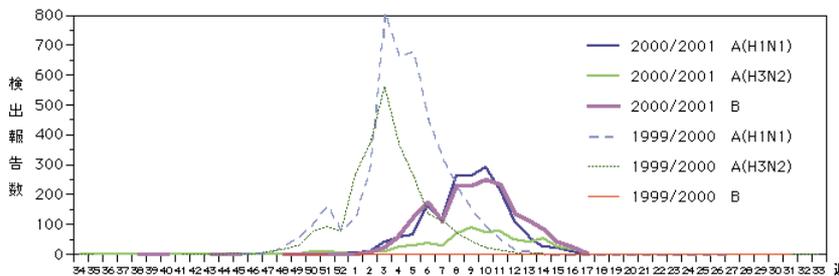
Infectious Agents Surveillance Report

インフルエンザ 2000/2001シーズン(2001年5月18日現在報告分)

今シーズンの分離ウイルスは、A/ソ連(H1N1)型が1,705件、A/香港(H3N2)型が657件、B型が1,854件報告されている。昨シーズンはA/ソ連(H1N1)型とA/香港(H3N2)型がともに第3週をピークとして分離されたが、今シーズンはA/香港(H3N2)型が第9週、A/ソ連(H1N1)型とB型は第10週がピークとなった。最近では、A/ソ連(H1N1)型が第17週に1(福岡市)、A/香港(H3N2)型が第17週に3(山形県、広島県)、B型は第17週に5(山形県、広島県)が報告されている。

週別型別インフルエンザウイルス分離・検出報告数の推移、2000/2001シーズン

(病原微生物検出情報: 2001年5月18日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離報告を図に示した。



Infectious Agents Surveillance Report



アデノウイルス7型の分離状況 - 新潟県

2000年11月～2001年3月にかけて、ほぼ新潟県下全域から散発的にアデノウイルス7型(Ad7)が分離された。

患者の内訳はインフルエンザ20名、咽頭結膜熱6名、扁桃炎・咽頭炎3名、感染性胃腸炎1名およびその他2名で、検体は咽頭ぬぐい液30件、便2件であった。患者の年齢は1歳～15歳(平均4.8歳)で、性別は男14名、女18名であった。

ウイルスはHEp-2細胞(分離率100%)、HeLa細胞(同78%)、CaCo-2細胞(同75%)でよく分離され、同定にはデンカ生研の抗血清を用いて中和反応により同定した。

新潟県におけるAd7の分離は、1997年に5株、1998年に4株、1999年に2株分離されたのみで、1999年6月以来分離されていない。また、1995年以降全国的にAd7による重症例・死亡例が報告されていることから、今後の動向に注意したい。

新潟県保健環境科学研究所

新井礼子 渡邊香奈子 西川 眞 篠川 旦

(IASR2001年5月号掲載記事より抜粋、詳細は同号参照)



海外感染症情報

香港で鶏からインフルエンザA(H5N1)ウイルス検出

WHO/CSR 2001年5月17日

香港で生きた鶏の小売を行なっている3個所の市場で、過去数日間で鶏の死亡数の増加が報告されており、インフルエンザA(H5N1)ウイルスが検出された。H5N1ウイルスは、他の小売市場では検出されていない。

予防処置として3個所の小売市場の鶏はすべて処分され、市場は消毒された。

インフルエンザA(H5N1)ウイルスのヒト患者は発生していない。鶏から分離されたこの株は、1997年に人の感染原因となったH5N1とは遺伝子的に異なっている。公衆衛生上問題はない。

更新 WHO/CSR 2001年5月18日

香港の他の小売市場でも、インフルエンザA(H5N1)ウイルスによる鶏の死亡数が増加している。

その結果、香港行政府は卸売りおよび小売市場での鶏の販売を禁止し、鶏を処分すると発表した。生きた鶏の小売店は4週間営業を停止する予定である。養鶏場では屠殺の準備が出来しだい、2週間以内に鶏を処分する予定である。中国本土からの鶏の輸入は停止している。

詳細な情報は以下のウェブサイトを参照されたい。

<http://www.info.gov.hk/gia/general/200105/18/0518293.htm>(Government of Hong Kong Special Administrative Region of China)

W135群髄膜炎菌感染症—更新

WHO/CSR 2001年5月16日

英国: 死者11例を含む41症例(8例がhaj巡礼者で、19例が巡礼者との濃厚接触者で、残りの症例は詳細不明)においてW135群髄膜炎菌が検査室検査によって確認された。

アカプルコでのヒストプラズマ症—疫学調査結果と持続する患者発生

CDC/MMWR 2001年5月11日

2001年3月にアカプルコに旅行した大学生に急性熱性呼吸器疾患の発生があり、初期の検査からヒストプラズマ症が疑われていた。

5月1日までに、22州とワシントンD.C.にある44大学から、少なくとも3日間の発熱があり、咳嗽、息切れ、胸痛、頭痛のうち1つ以上の症状がある急性熱性呼吸器疾患に罹患した学生229人が報告された。

感染源を同定するために、3月前半の2週間にアカプルコの3つのホテルに泊った学生についてのコホート研究が行なわれた。109人の無作為に選ばれた学生にアカプルコ滞在中の自覚症状、生活、周囲の状況について画一的な質問票により調査がなされた。Calinda Beach Hotelに宿泊したのは31人で、その他のホテルに宿泊したのが78人であった。女性が58人(53%)で、年齢の中央値は21歳(範囲は17歳から25歳)であった。

単変量解析の結果、Calinda Beach Hotelに宿泊したことが疾患と有意な関連があった(相対危険度13.8, $p < 0.001$)。他の活動(クラブやレストランに行くなど)は疾患と関連がなかった。

5月3日CDCは、4月9 ~ 16日にアカプルコに旅行してCalinda Beach Hotelに泊ったカリフォルニアからのカップルが、2人ともヒストプラズマ症を発症したことの報告を受けた。2人とも26歳で、発症はアカプルコから戻って来てから8日目であり、急性ヒストプラズマ症に矛盾していなかった。Histoplasmosis Reference Laboratoryでのヒストプラズマ症の尿中抗原検査はともに陽性であった。急性肺ヒストプラズマ症の診断においてこの検査の感度は高くないが、特異性は非常に高い。このことから、そのホテルでヒストプラズマ症の感染が起こっていることが示唆される。

Calinda Beach Hotelを訪れる人はヒストプラズマ症に罹患する危険があることを認識しておくべきで、もし症状ができれば医師の診察を受けるべきである。診断した医師は、CDCの真菌疾患部門に電話かe-mailで連絡されたい。さらに詳細が判明するまで、アカプルコに行く人はCalinda Beach Hotelがある地域に行くことを避けるように勧める。

自動車工場で発生したレジオネラ症流行ーオハイオ州

CDC/MMWR 2001年5月11日

2001年3月12日から15日の間に、自動車エンジン部品の鋳造工場で4人の労働者にレジオネラ症が発生したと、Cuyahoga郡保健部に報告された。全員が尿中のレジオネラ抗原により診断された。4例の発症日は3月2日から4日であり、2例が死亡した。

工場労働者がレジオネラ菌に曝露される危険因子を決定するために、症例対照研究が行われた。その結果、工場の最終仕上げ工程内の一カ所を訪れること オッズ比[OR]15.1 ,95%の信頼区間[CI]3.0 ~ 76.2 と、最終仕上げ工程で働くこと(OR=3.8, CI=1.0 ~ 13.8)が、病気との関連がみられた。

工場は3月14日から19日まで閉鎖され、全ての配水システムが消毒され、最終工程を含めて工場の至る所でレジオネラの環境調査が実施された。消毒される前に最終工程で霧状となった水の標本からはレジオネラ菌は培養されなかったが、環境調査で集められた197標本のうち18標本からレジオネラ菌が分離された。しかし、いずれの菌も患者から分離された菌と一致しなかった。症例対照研究の結果に基づいて、4月14日に最終工程の場所でさらに標本が集められたが、全ての標本でレジオネラ菌が陰性であった。郡の保健担当官が、感染がどのように起こったのが決定するために、工場の関連した場所の記録を集めている。

編集後記

工場ではレジオネラ菌が繁殖し、感染伝播する源となり得る。環境から集められた標本からレジオネラ菌が同定されれば、その職場でレジオネラ菌が繁殖することができることを示している。発症日が同じ集団発生であること、働いている工場以外に4人に病因となるものがないことや、症例対照研究の結果などから、工場の特定の最終工程がレジオネラの感染源でありそうである。患者の発症日の日付が近く、ほかの労働者に新たな症例が見つからないことから、レジオネラ菌への曝露は一時的、一過性であったと思われる、環境から集められた標本に臨床分離株に一致する菌が見つからなかったことが説明できる。

労働者が汚染された金属加工用水に曝露される自動車工場、鋳物を冷やすときに水を使用する工場、廃水を扱う施設などの産業環境でレジオネラ症の流行が報告されている。いずれの環境でも、水を霧状にする装置が関わっている。

レジオネラ症は全ての市中肺炎の原因菌の2 ~ 15%を占めると推定されているが、年間1,200 ~ 1,500例が報告されるだけである。レジオネラ症の適切な診断検査として、尿中抗原検出や痰の培養がある。レジオネラ尿中抗原検査は、迅速で正確に *Legionella pneumophila* 血清型1型の診断を可能とするが、他の血清型やあまり一般的でない他の種の診断はできず、また流行調査で環境から見つかった菌との比較もできない。レジオネラ症は抗レジオネラ抗体価の4倍以上の上昇や、痰を用いた直接免疫蛍光法で確認することでも診断可能であるが、後者は特異度と感度が低い。尿中抗原の検査に加えて、もしも臨床医が、レジオネラの分離に熟練した検査技師に培養してもらうために呼吸器標本を確保していたならば、レジオネラ症の診断と調査は改善すると思われる。レジオネラ症に関連した病気についての理解が向上し、適切な調査がもっと行われるようになれば、医療従事者は郡や州の保健当局にレジオネラ症の報告を行うであろうし、州の保健局もCDCにレジオネラ症の報告を行うであろう。



感染症の話

E型肝炎

E型肝炎は、従来、経口伝播型非A非B型肝炎とよばれてきたウイルス性の急性肝炎で、E型肝炎ウイルス(HEV)が病原体である。主に発展途上国で散発的に発生している疾患であるが、ときに飲料水などを介し大規模に流行することもある。E型肝炎の死亡率はA型肝炎の10倍といわれ、妊婦では実に20%に達することもある。また日本、ヨーロッパ諸国、北米大陸において非A非B型肝炎といえばC型肝炎を意味するが、発展途上国では事情が異なり、大部分はE型肝炎であるといわれる。わが国でも近年輸入感染症として発生がみられている。

疫学

HEVはアジアにおける流行性肝炎の重要な病因ウイルスである。中央アジアでは、E型肝炎はA型肝炎と同じく秋にピークに達するが、東南アジアでは雨期に、特に広い範囲の洪水の後に発生する。伝播は糞口経路により、主に水系感染である。1955年ニューデリーで共通感染源による流行が発生し、これは飲用上水の糞便汚染が原因であった。この流行では、黄疸性肝炎と診断された症例だけでも29,000人に及んだ。これに似た水系感染流行がインド、中央アジア、中国、北アフリカ、メキシコなどでも報告されている。

病原体

HEVは直径27nmのエンベロープを持たない小型球形ウイルスで、内部に約7.2Kbのプラス一本鎖RNAをゲノムとして持っている。形態学的にはノーウォークウイルスに類似し、かつてカリシウイルス科に分類されていた。しかし、ウイルス遺伝子上のウイルス蛋白の配置、特に非構造蛋白の機能ドメインの配置がカリシウイルスのそれらとは全く異なることが明らかになり、1999年の国際ウイルス命名委員会では未分類のウイルスとされている。HEVが効率よく増殖する培養細胞系は確立されておらず、その複製機構はあきらかではない。チンパンジー、タマリン、ミドリザルのほか、アカゲザル、カニクイザルなどMacaca属のサルが感受性を示す。これら感染サルの胆汁中には多量のウイルスが排泄され、研究の出発材料として有用である。精製ウイルスの塩化セシウム平衡密度勾配遠心法での比重は1.35g/cm³、蔗糖密度勾配遠心法での沈降定数は176s ~ 183sである。(図1に感染サルの胆汁中にみられたウイルス粒子を示した。)

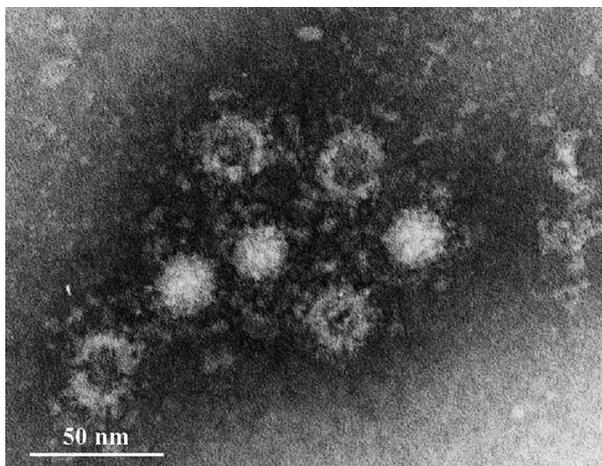


図1. HEV粒子の電子顕微鏡像：直径は約30nmである。この図では抗体によってウイルス粒子が凝集しているように見える。(日本大学医学部内田俊和氏提供)

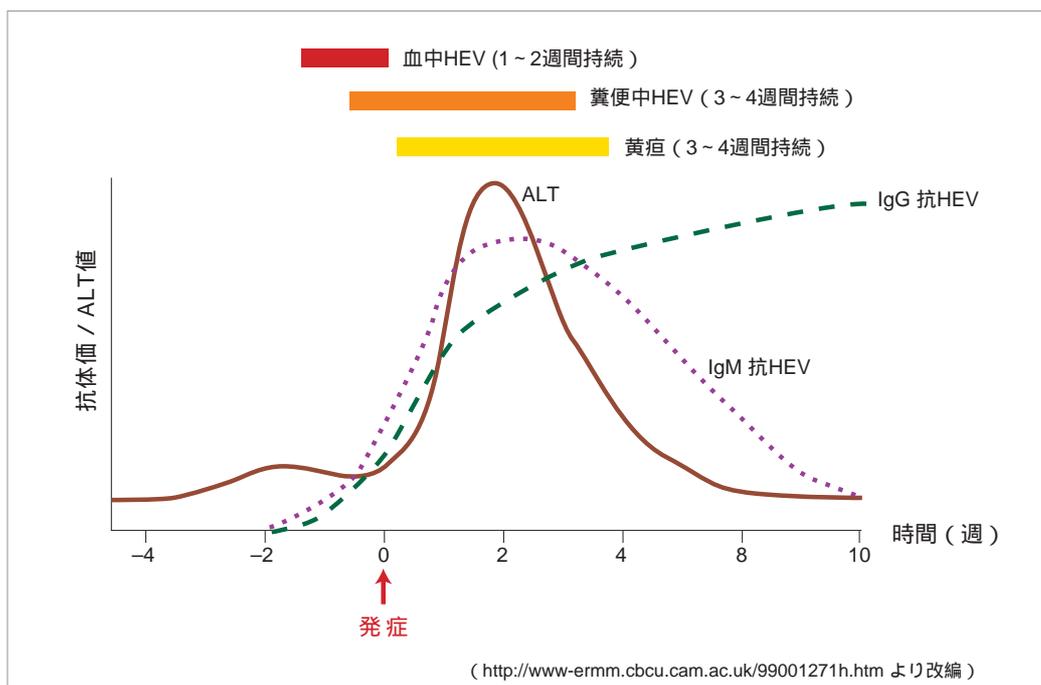
臨床症状

他の肝炎ウイルス同様、HEVにとって肝臓が唯一のターゲット器官である。

E型肝炎の臨床症状はA型肝炎と似ている(図2)。潜伏期間は15 ~ 50日、平均6週間で、これは平均4週間といわれるHAV感染の潜伏期に比べ、幾分長い。ボランティアに糞便材料を経口投与した実験では、投与後約5週間で発症が見られている。その後悪心、食欲不振、腹痛等の消化器症状を伴う急性肝炎を呈する。症状としては、褐色尿を伴った強い黄疸が急激に出現し、これが12 ~ 15日続いた後、通常発症から1カ月を経て完治する。黄疸に先立ってウイルス血症が出現し、ウイルスは便へも排泄される。

A型肝炎と同様、E型肝炎は慢性化しないが、稀にIgM抗体が長時間持続したり、便中への排泄を伴って長期間ウイルス血症状態が続く例も見られる。E型肝炎の特徴の一つは、妊婦で劇症肝炎の割合が高く、死亡率が20%にも達する事があることである。母子感染に関してははっきり分かっていないが、治癒した妊婦の胎児発育には影響がないとする報告がある。HEV感染による死亡率は1 ~ 2%であるが、これもHAVに比べ10倍の高さである。E型肝炎の罹患率は、大流行でも散发例でも青年と大人(15 ~ 40歳)で高い。小児における不顕性感染はA型肝炎と比べて低く、対照的である。E型肝炎での肝臓の病理所見は、急性期の組織学的病変を示す。胆汁うっ滞性の肝炎像は一つの特徴である。

図2. E型肝炎の臨床経過



病原診断

E型肝炎ウイルス粒子は発症前後の患者や感染サルの糞便に一次的に出現するが、量が少なく、すぐに消失する。従って、抗原検出は診断の目的には不適當である。それに対して、肝炎を発症した時点でHEVに対する特異的な血中IgM抗体が大量に誘導されるので、診断にはこのIgM抗体の検出が迅速、かつ最も確實である。問題はいかにして抗原を得るかである。これまでネイティブなウイルスと近い抗原性と免疫原性をもち、かつ、大量産生できて簡単に精製できる構造蛋白の発現が強く求められてきた。しかしながら、今までそれに成功した研究例はなかった。

最近、筆者らはHEV感染サルの胆汁からRNAを抽出し、RT-PCR法で構造蛋白領域を増幅してORF2全領域を増幅後、ORF2のN末端から111アミノ酸を欠失させたフラグメントを組換えバキュロウイルスで発現することによって、平均密度1.285g/cm³、直径約23 ~ 24nmの中空粒子を大量に得ることに成功した(図3)。この粒子を用いたEIAによって、急性期の患者血清と感染サルの血清からHEVに特異的なIgMとIgG抗体を、回復期の患者血清と感染サルの血清からIgG抗体を検出することができた。したがって、この中空粒子はネイティブな粒子に近い抗原性を持つ粒子であると考えられた。また、この粒子を免疫原として作製した高力価血清を用いて、患者糞便からHEV抗原を特異的に検出するEIAも開発することができ、中空粒子がネイティブな粒子に近い免疫原性を持つ粒子であることも明らかになった。したがって、特異性と感度を兼ね備えた検出系が構築できたと考えている。海外ではAbott社、Gene Lab社などから診断薬が販売されているが、わが国へは輸入されていない。我々のEIAは市販されていないが、血清診断は下記で受け付けている。

〒162 - 8640
 東京都新宿区戸山1 - 23 - 1
 国立感染症研究所ウイルス第二部
 腸管感染ウイルス第一室
 担当者 武田 直和
 電話 : 03 - 5285 - 1111(内線2522)
 FAX : 03 - 5285 - 1161
 Mail : ntakeda@nih.go.jp

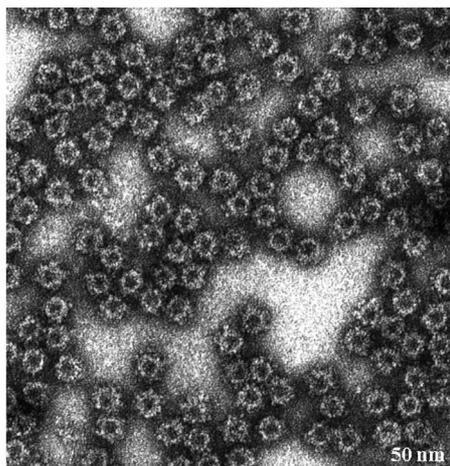


図3. HEVのウイルス様中空粒子(VLP): 組換えバキュロウイルスでウイルス構造蛋白(ORF2)を発現することによって、VLPを無限に産生することができる。直径は約24nmである。

治療・予防

治療としては、他の急性肝炎と同様に対症療法のみである。劇症肝炎に対しては、血漿交換などによる治療が必要となる。一般的な予防としてはA型肝炎と同様に、汚染地域と考えられる地域に旅行する場合に、飲料水、食物に注意し、基本的には加熱したもののみを摂取するように心がける。ワクチンはまだ開発されていない。

発生動向調査について

急性ウイルス性肝炎は4類感染症全数把握疾患であり、診断した医師は7日以内に保健所に届け出る必要がある。報告のための基準については、感染症週報1999年第49週：通巻第1巻 第36号、感染症の話「急性肝炎」を参照のこと。

(国立感染症研究所ウイルス第二部 武田直和)



読者のコーナー

Q: 香港でインフルエンザにより大量のニワトリが処分されたと聞きました。香港旅行を予定していますが、罹るのではないかと心配です。国内ではインフルエンザのシーズンはほとんど終わりましたが、ワクチンを保管している医療機関を探して、打ってもらうほうがいいのでしょうか？

(東京都Sさん <一般>)

香港のインフルエンザA(H5N1)について

1997年香港において、ニワトリがインフルエンザA(H5N1)の大流行で大量に死に、ヒトにも感染が見られ18人が罹りましたが、不幸にもそのうち6人が死亡しています。このとき香港政府は160万羽のニワトリを殺処分としました。

ヒトを対象とするインフルエンザワクチンはA(H1N1)、A(H3N2)およびB型を対象としており、このインフルエンザA(H5N1)に対しては効きません。また、A(H5N1)に対するワクチンの開発を各国が試みっていますが、今のところ実用化に至ってはいません。

今回の香港でのニワトリのインフルエンザもA(H5N1)ですが、1997年の時のウイルスとは遺伝的に異なるものです。現在までのところ、今回の流行でヒトに罹った例は報告されていません。香港の衛生当局は、今回のニワトリのインフルエンザA(H5N1)の流行で大量のニワトリが死んでいること、これらのニワトリからヒトへの感染の危険は今のところないが、余り流行が長く続くと、このウイルスがヒトにも罹るウイルスに変わっていく可能性も危惧して、このように思い切って大量のニワトリを殺処分したとのことでした。

なお、運悪くヒトが罹る場合は、病気のニワトリに接して、気道(鼻粘膜、咽頭、気管・気管支など)からウイルスが侵入するためであり、鶏肉を食べて感染するわけではありません。養鶏場の見学など、大量の鶏に直接接するようなことのない一般の旅行であれば、ニワトリインフルエンザに感染のおそれはほとんどないと言って良いと思います。

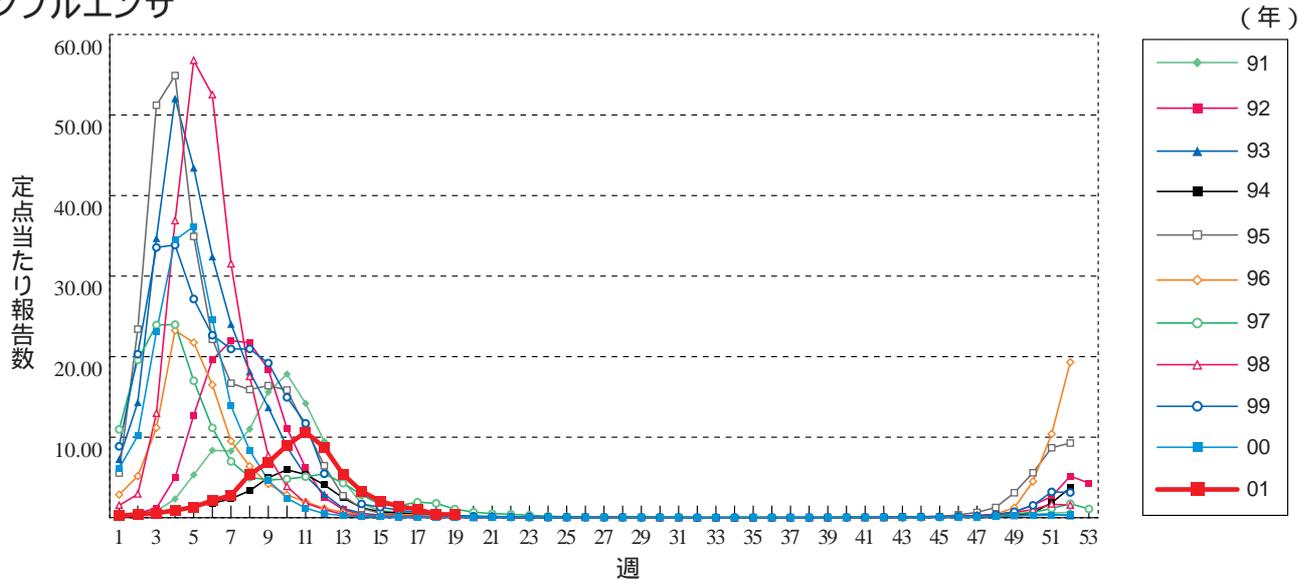
(国立感染症研究所感染症情報センター)

「読者のコーナー」では読者のみなさまからのご意見・ご質問をお待ちしております。
ご意見・ご質問は、題名(タイトル)の一番はじめにidwr-QをつけてこちらまでEメールでどうぞ。

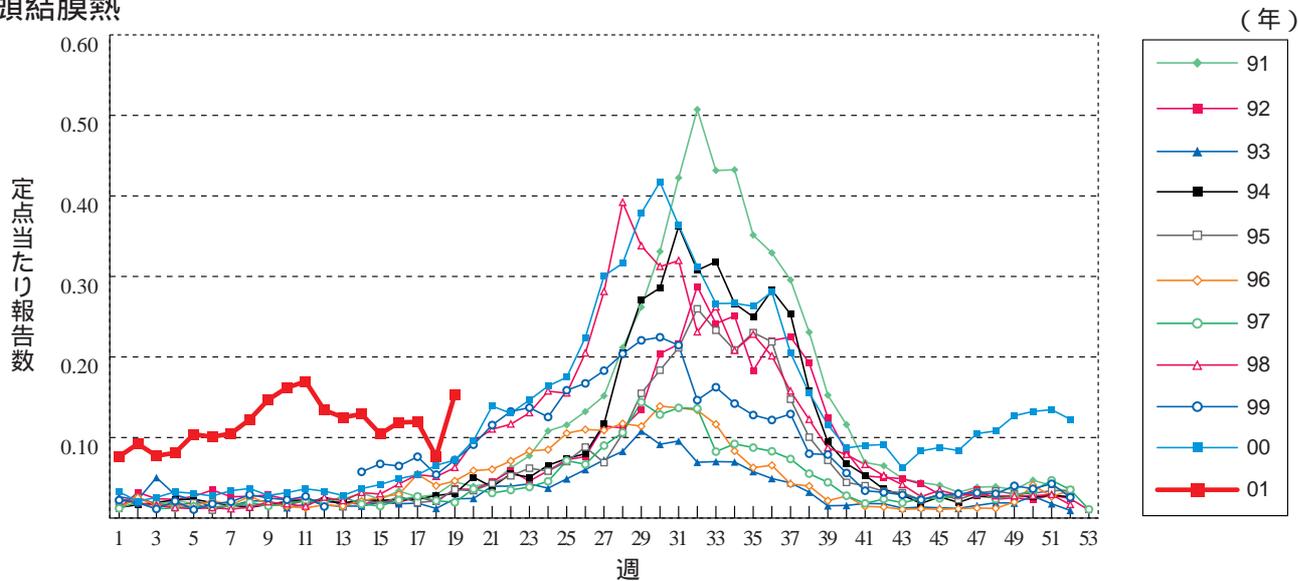
idsc-query@nih.go.jp

グラフ総覧(19週)

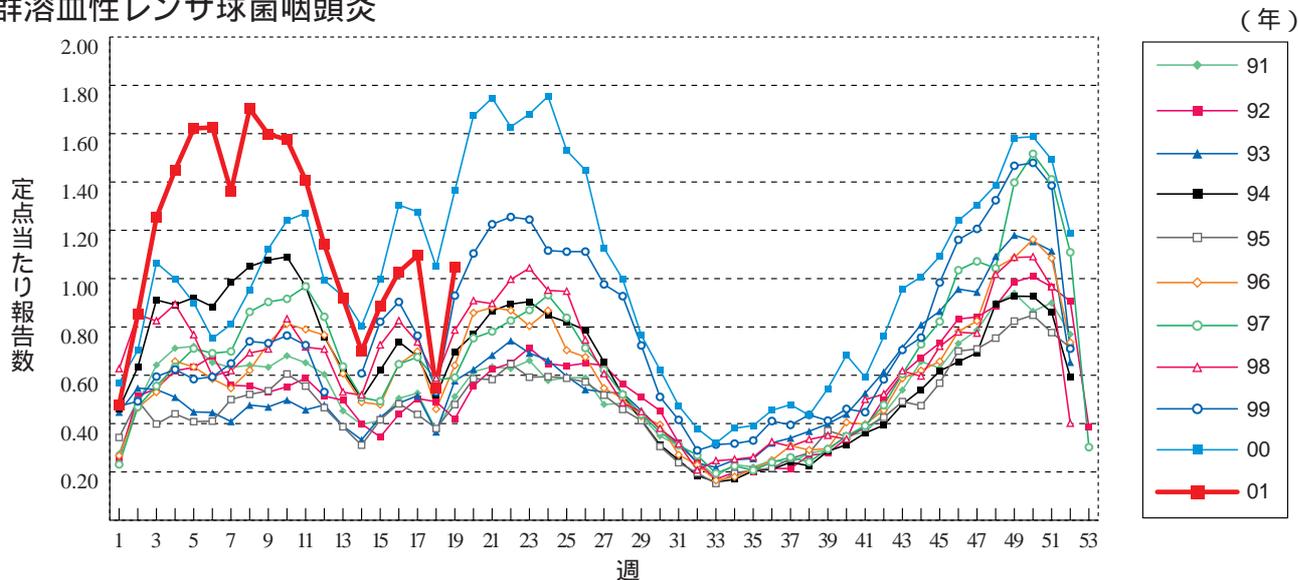
インフルエンザ



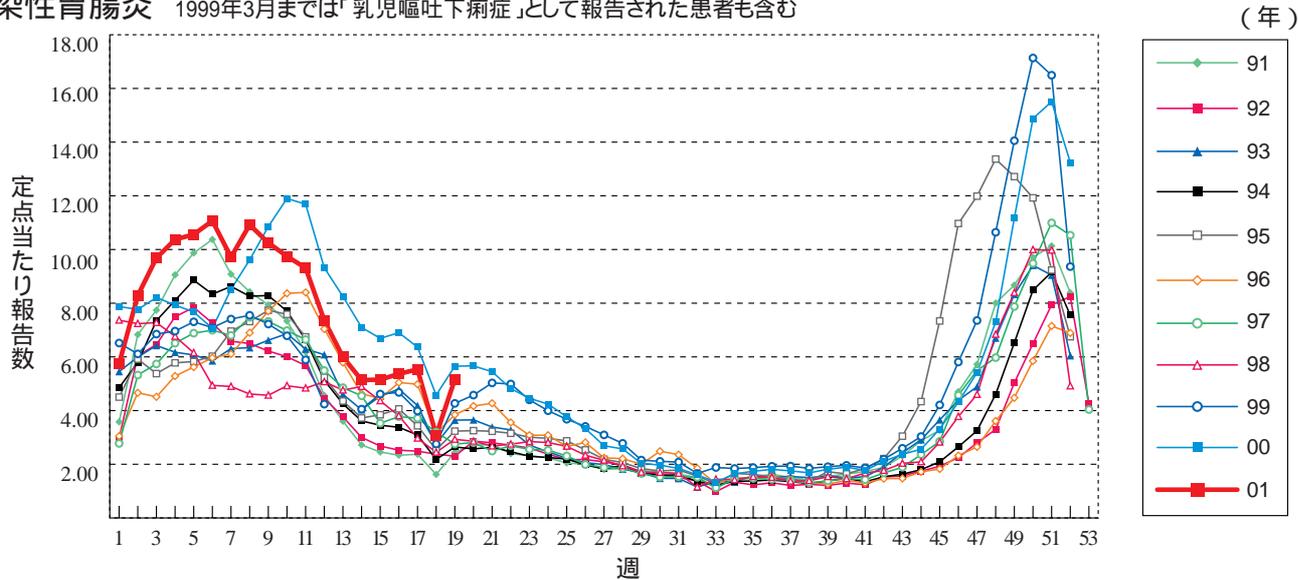
咽頭結膜熱



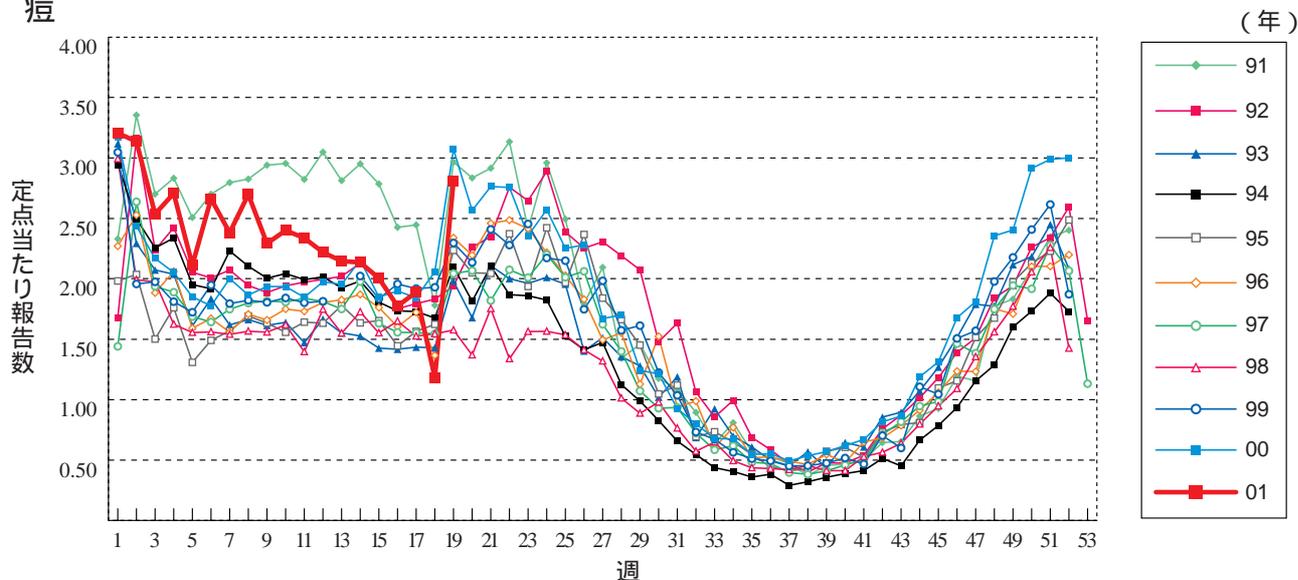
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



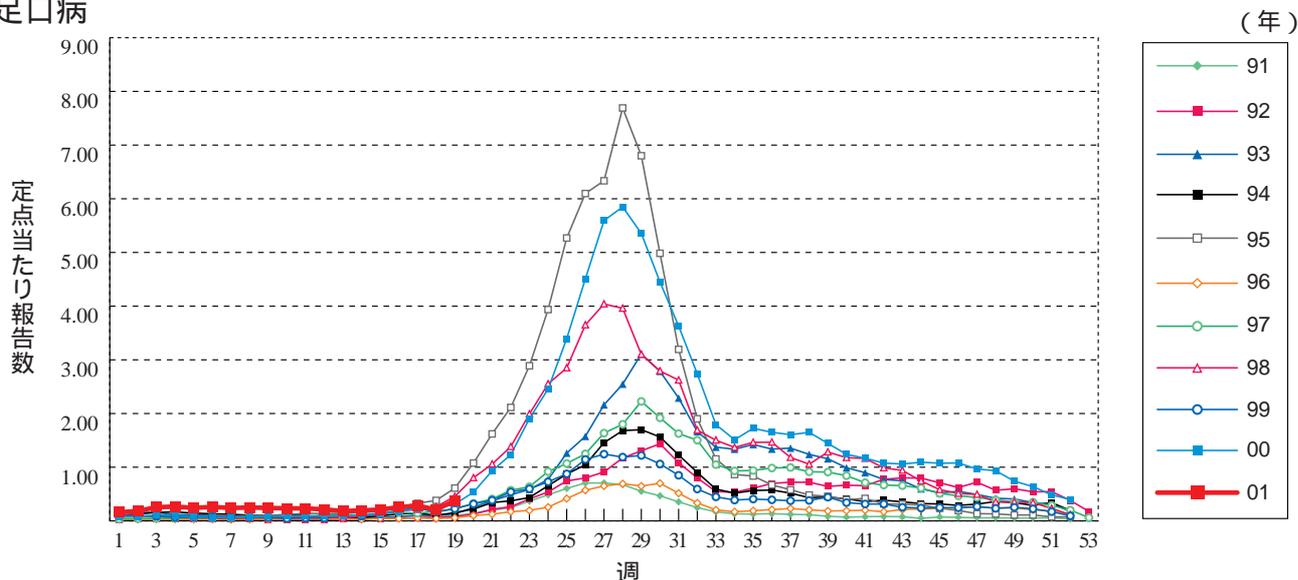
感染性胃腸炎 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



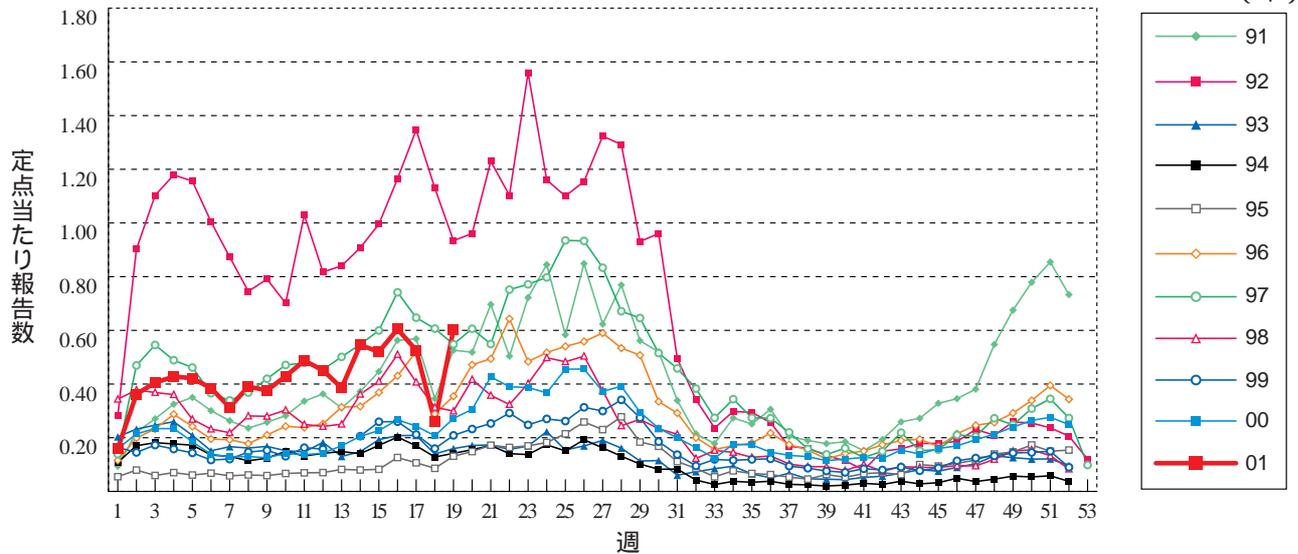
水痘



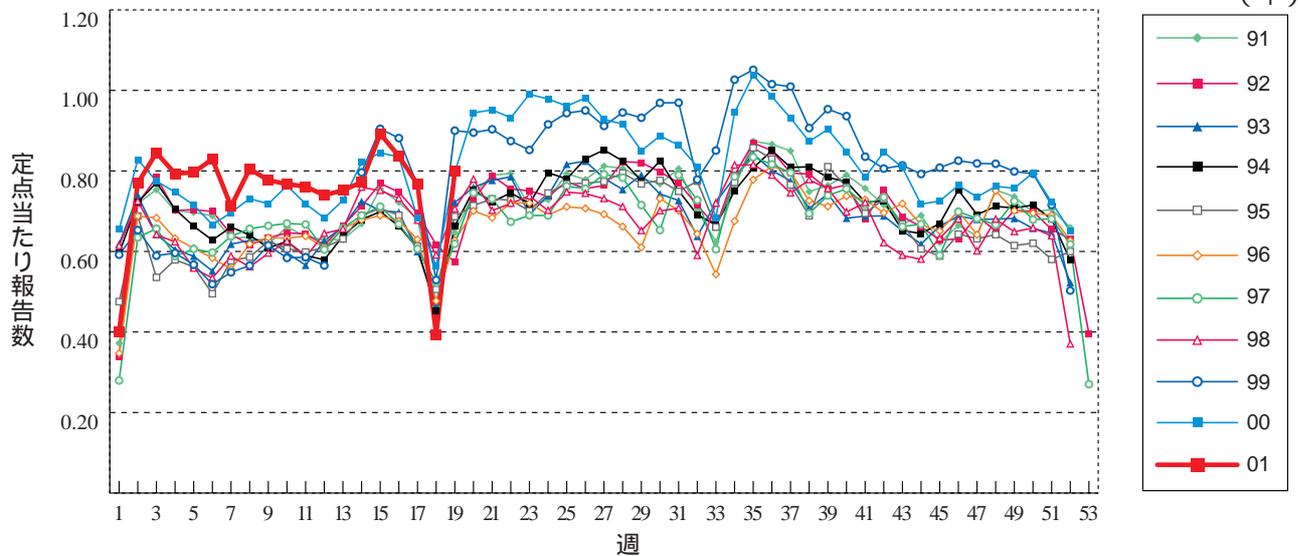
手足口病



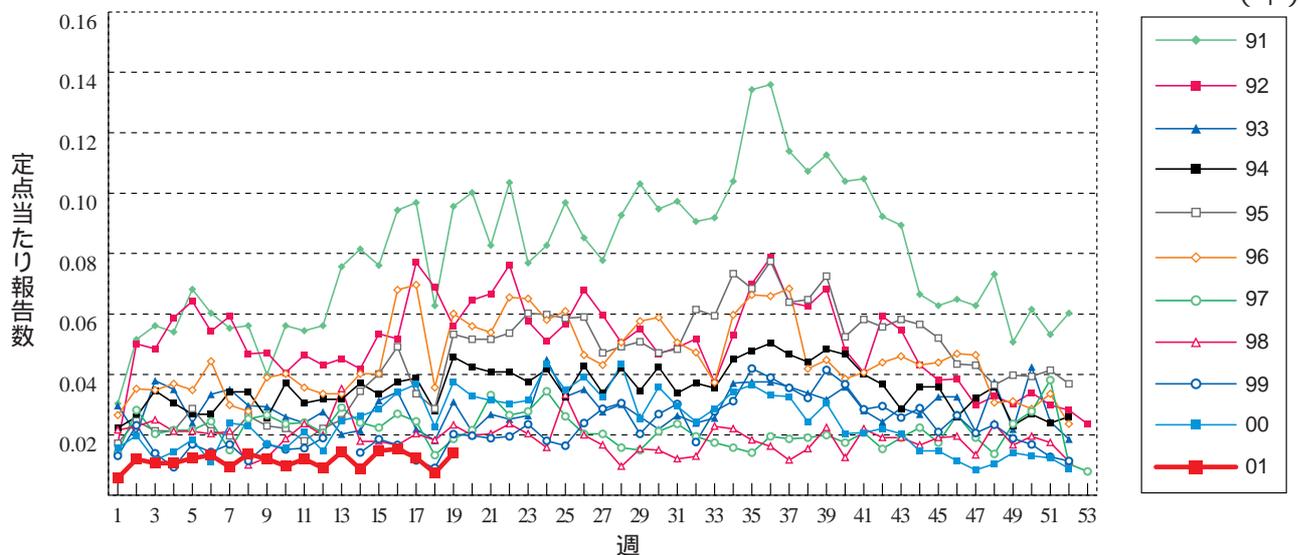
伝染性紅斑



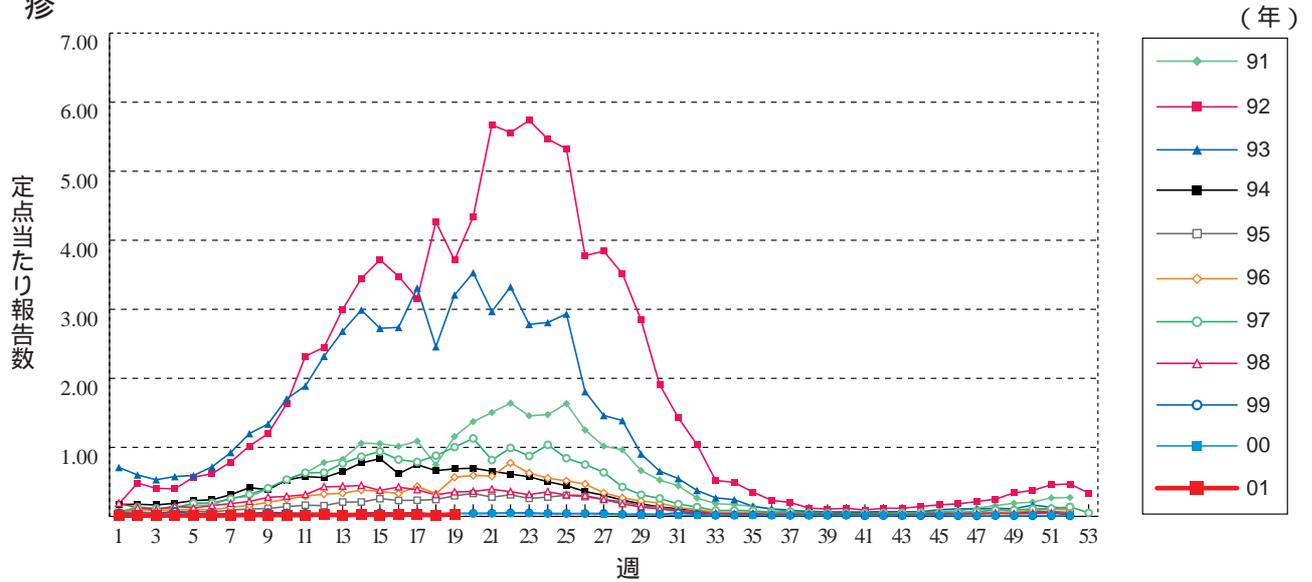
突発性発疹



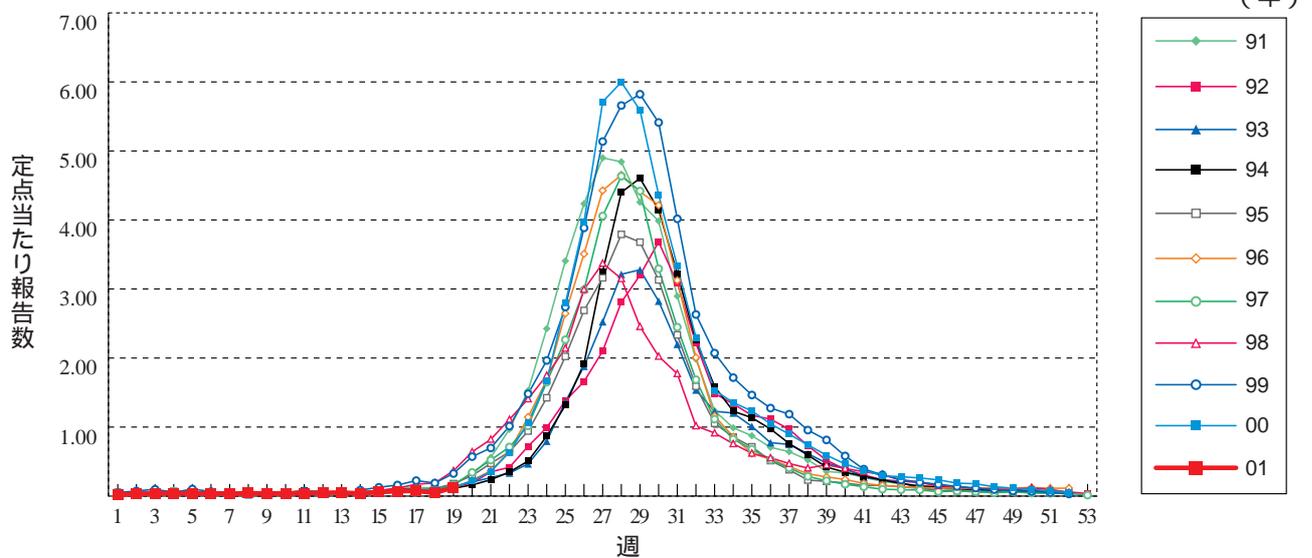
百日咳



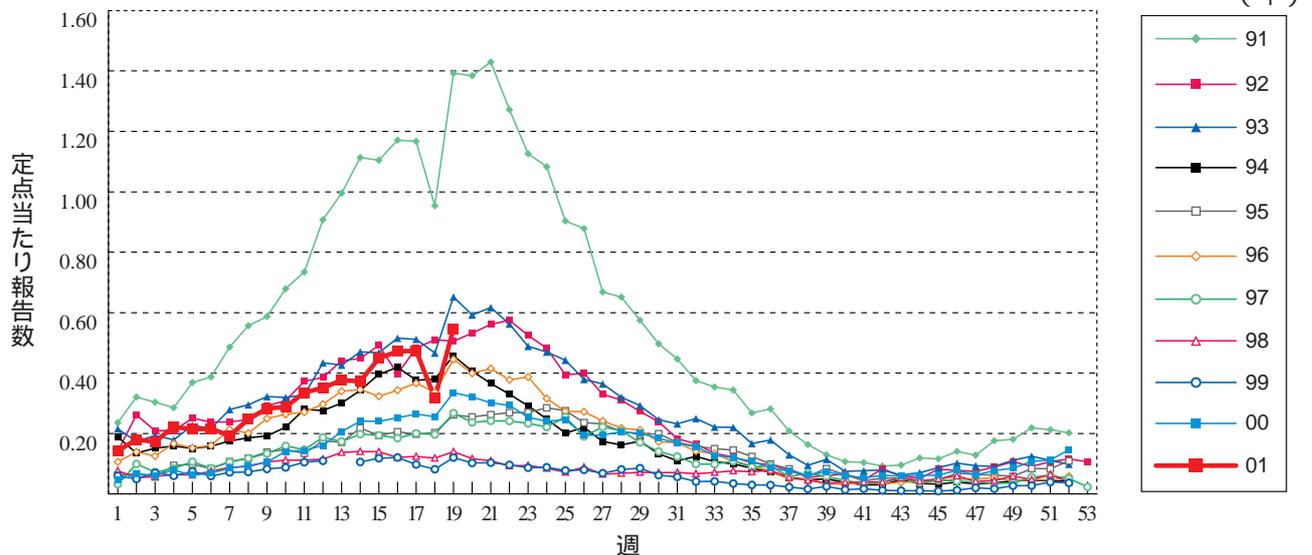
風 疹



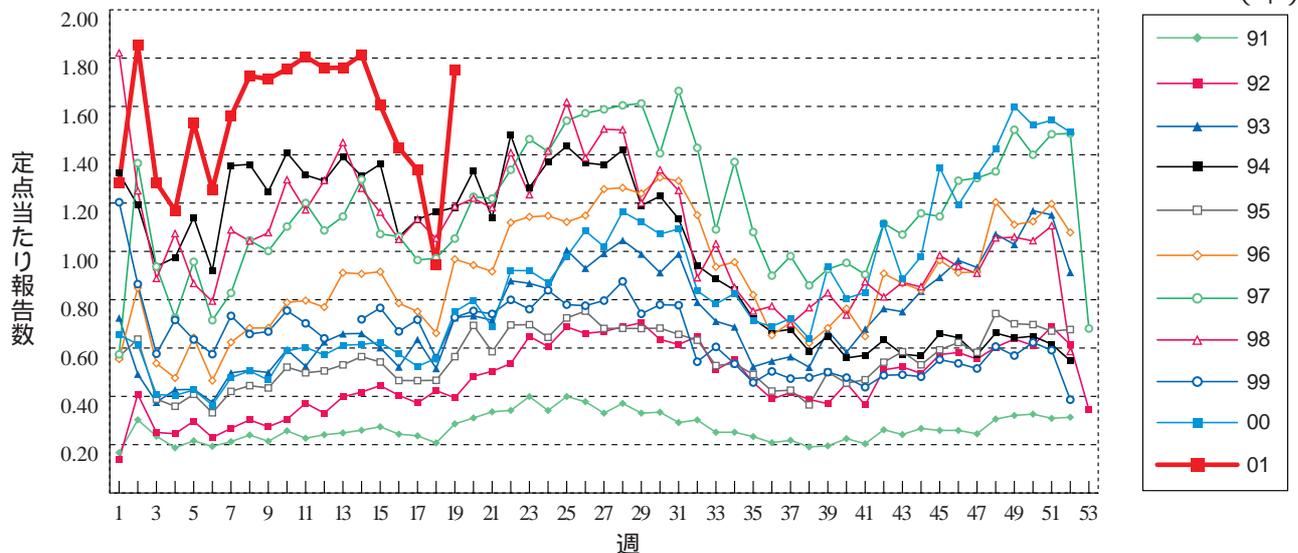
ヘルパンギーナ



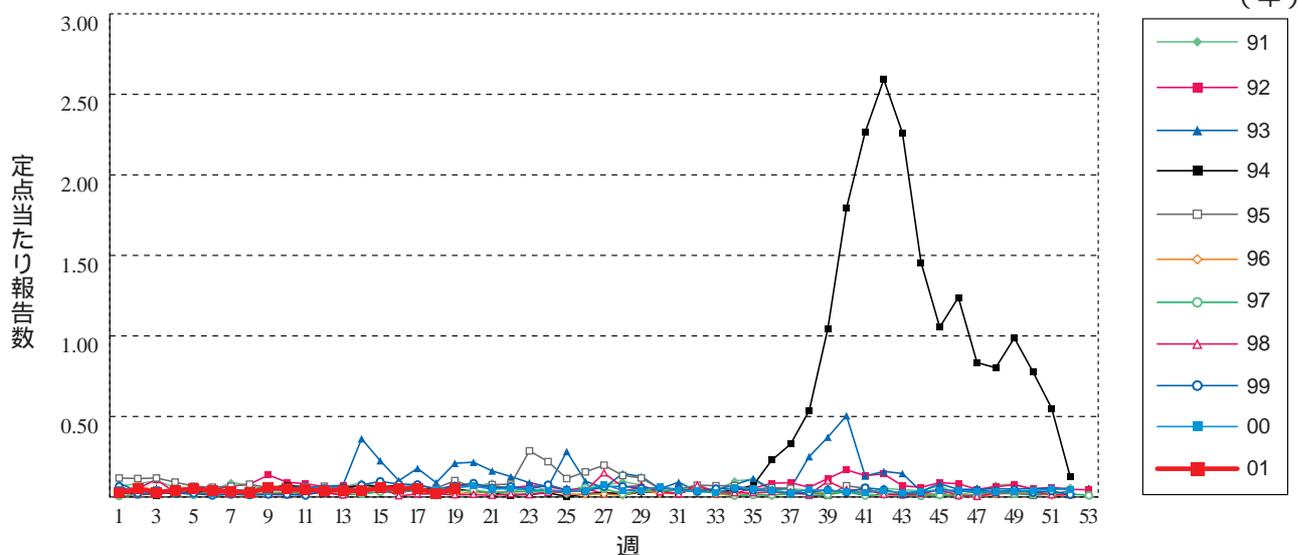
麻 疹 (成人麻疹を除く) 1999年の12週以前は成人麻疹を含む



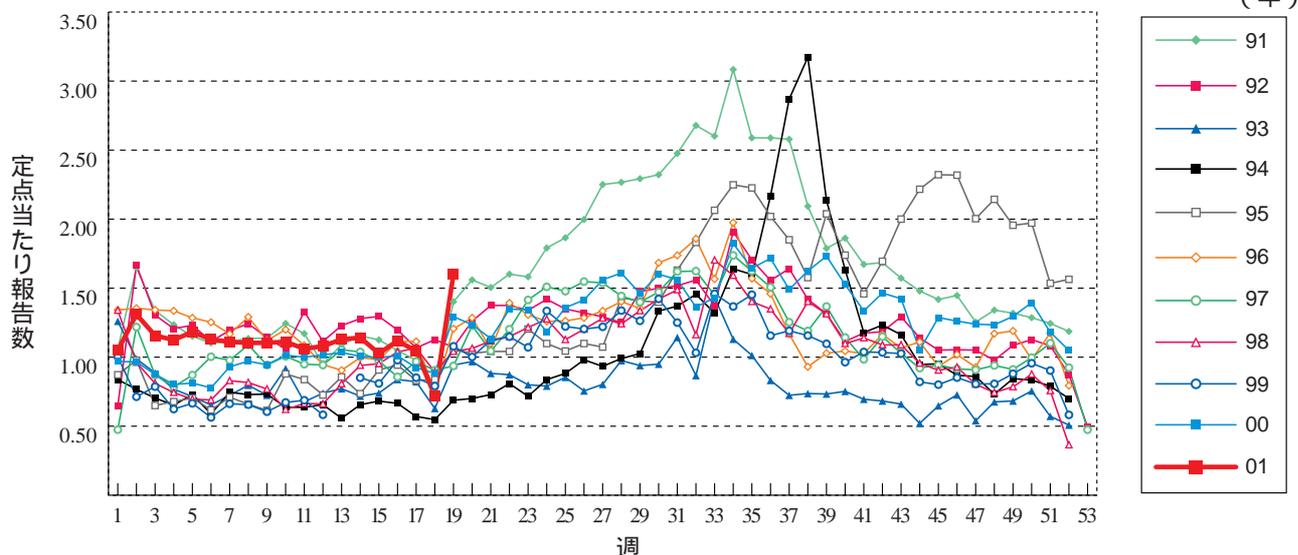
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

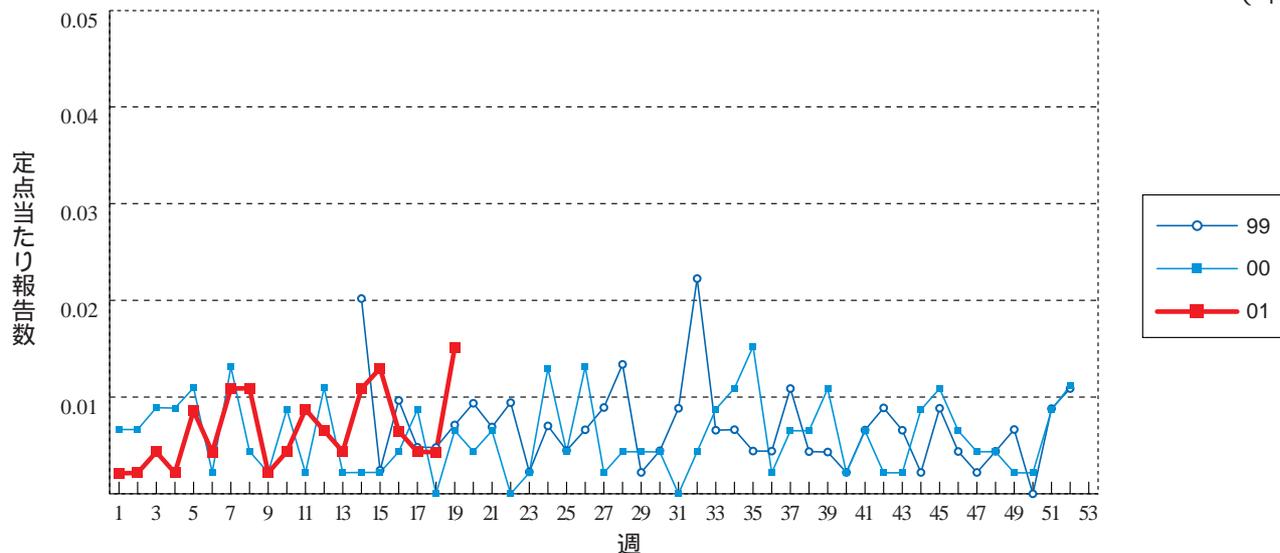


流行性角結膜炎



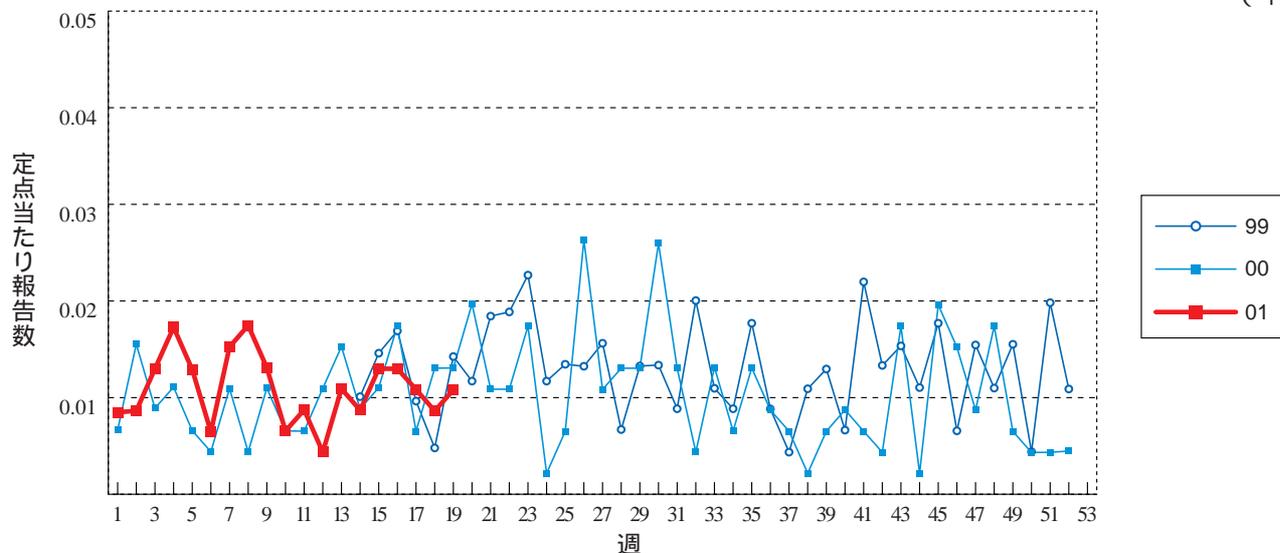
急性脳炎 (日本脳炎を除く)

(年)



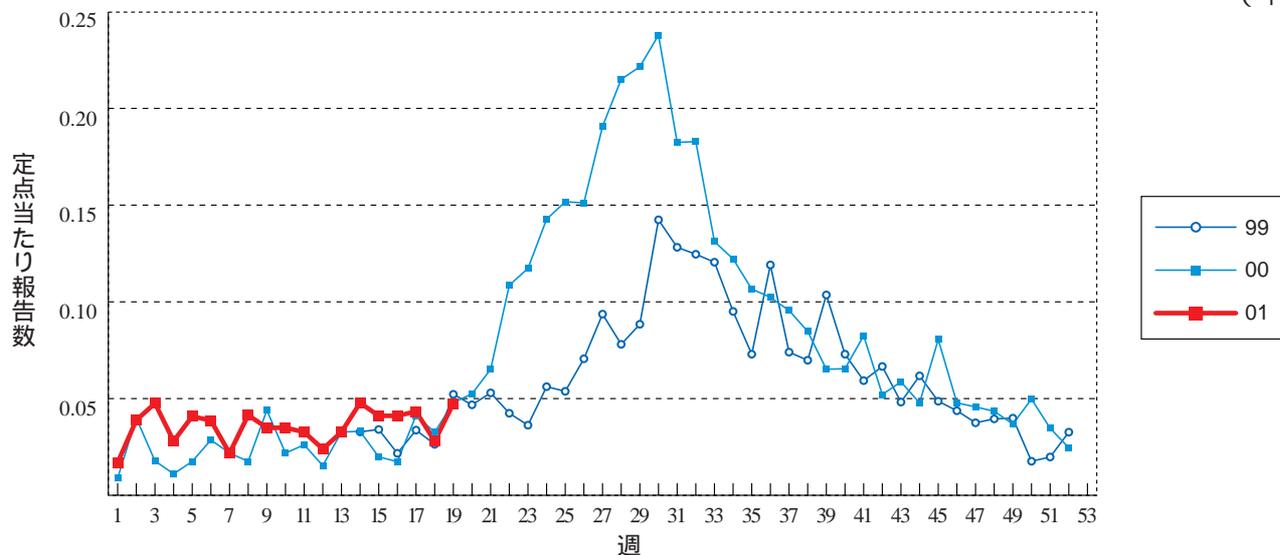
細菌性髄膜炎

(年)



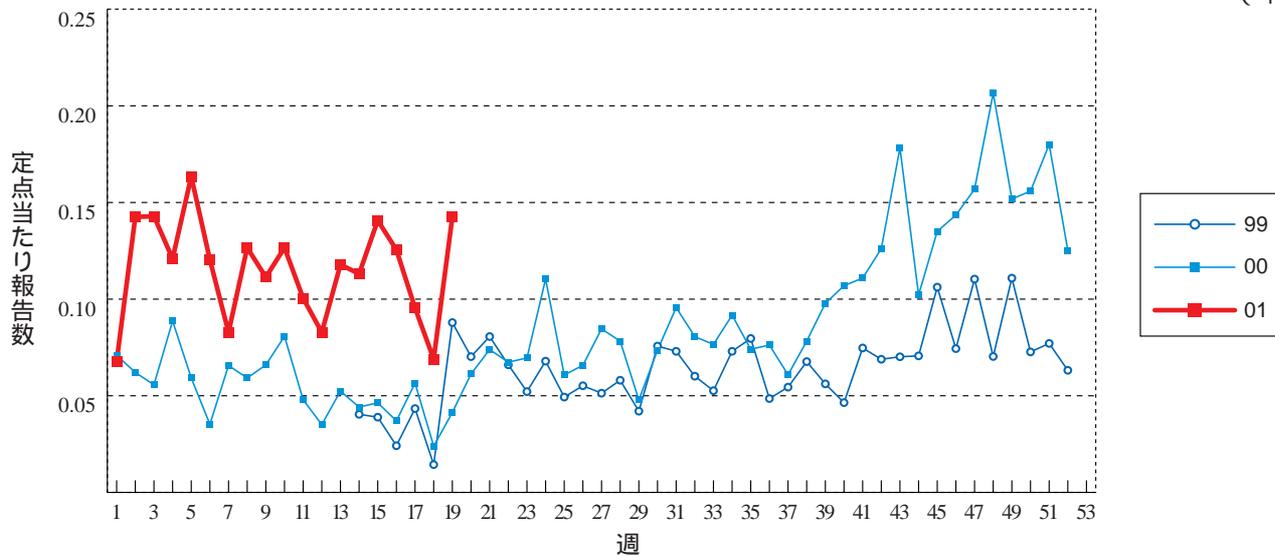
無菌性髄膜炎

(年)



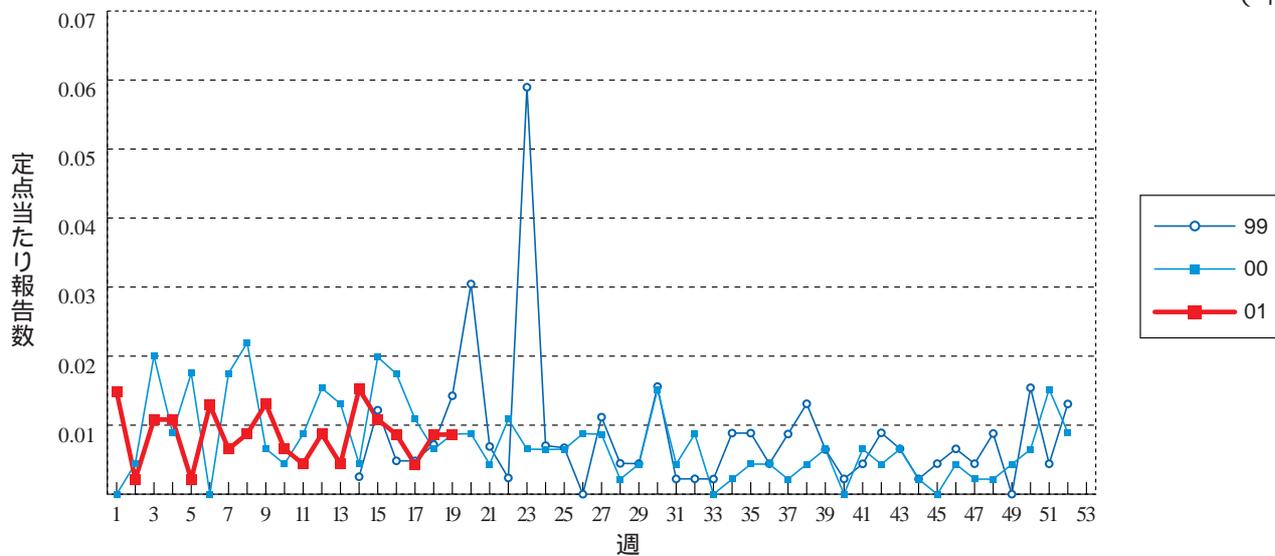
マイコプラズマ肺炎

(年)



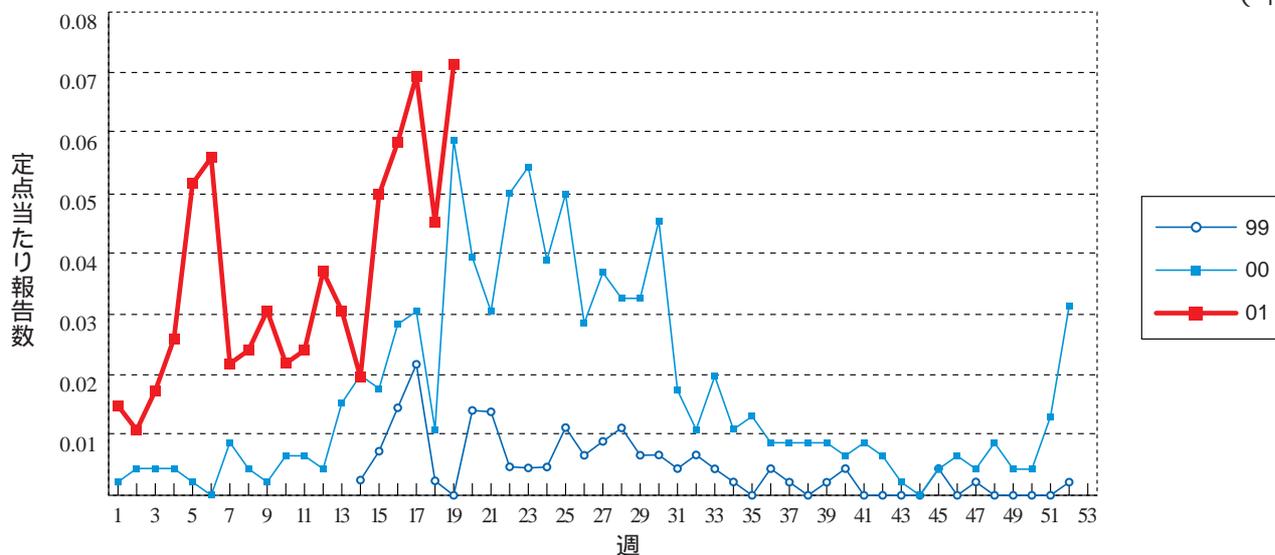
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)

(年)



成人麻疹

(年)

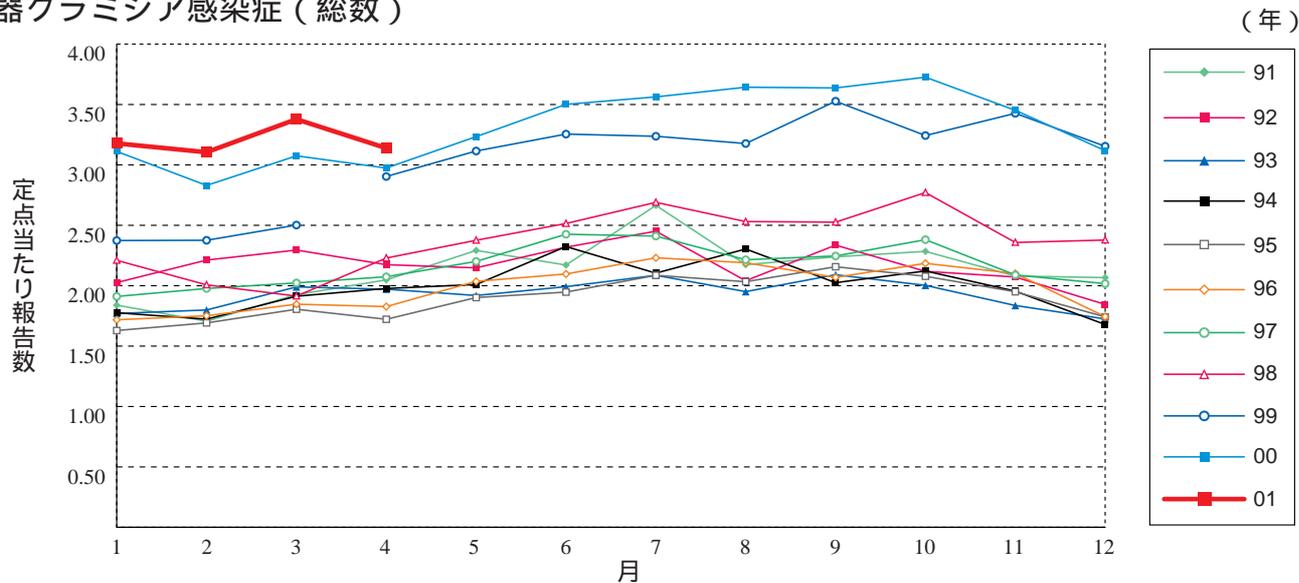




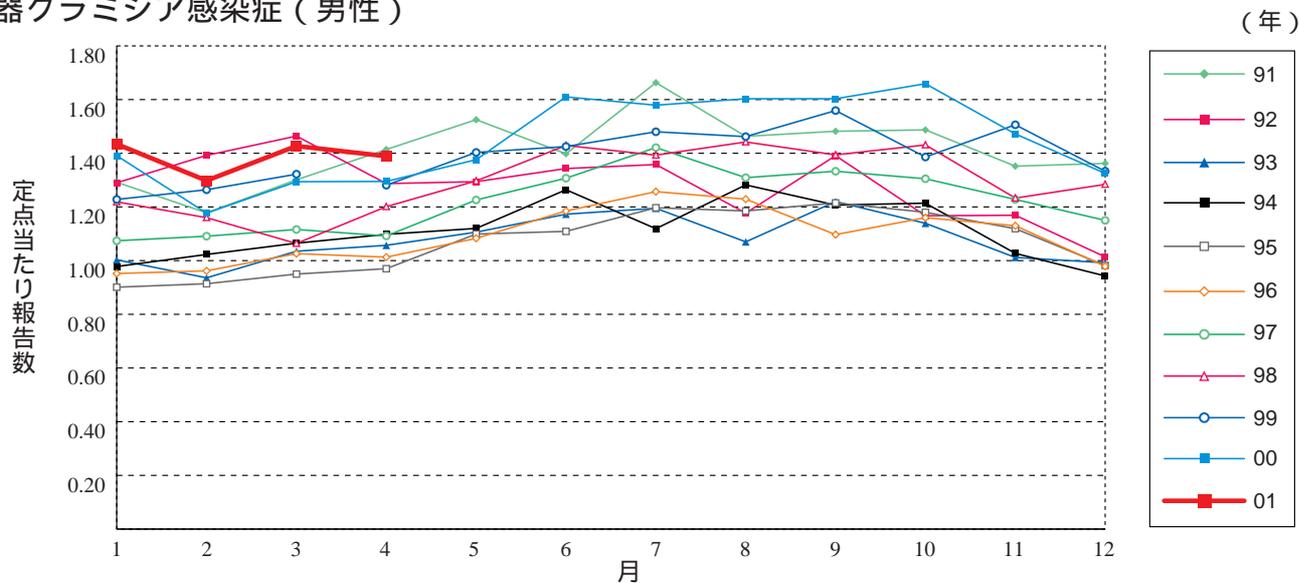
グラフ総覧(4月)

注)1999年4月以降は定点設定が変更されております。

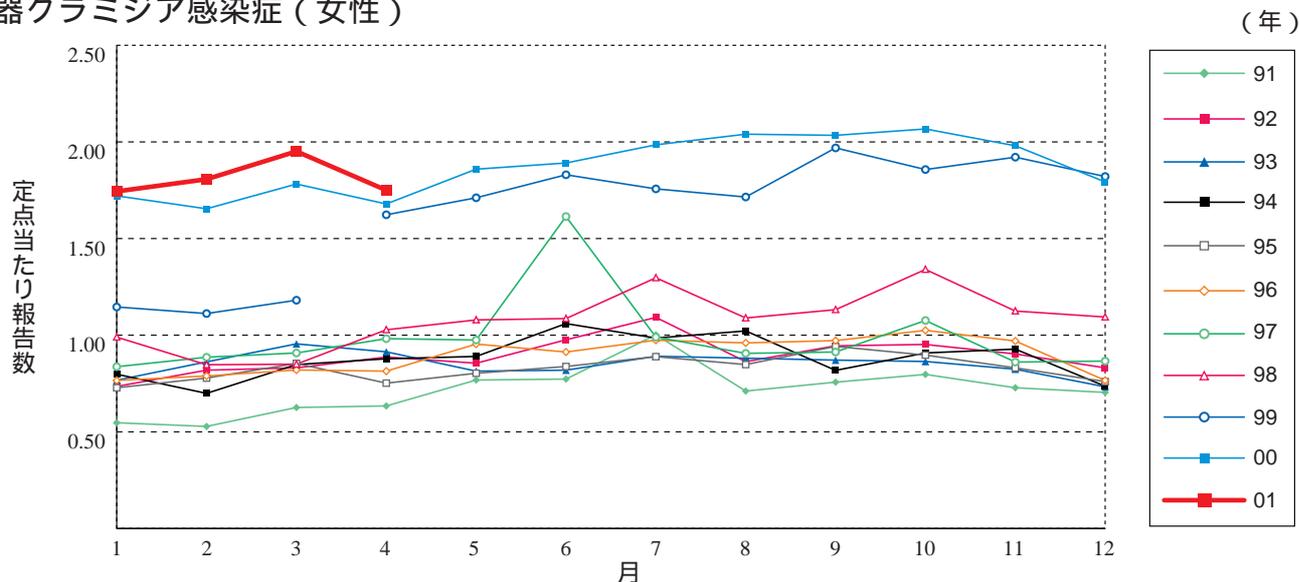
性器クラミジア感染症(総数)



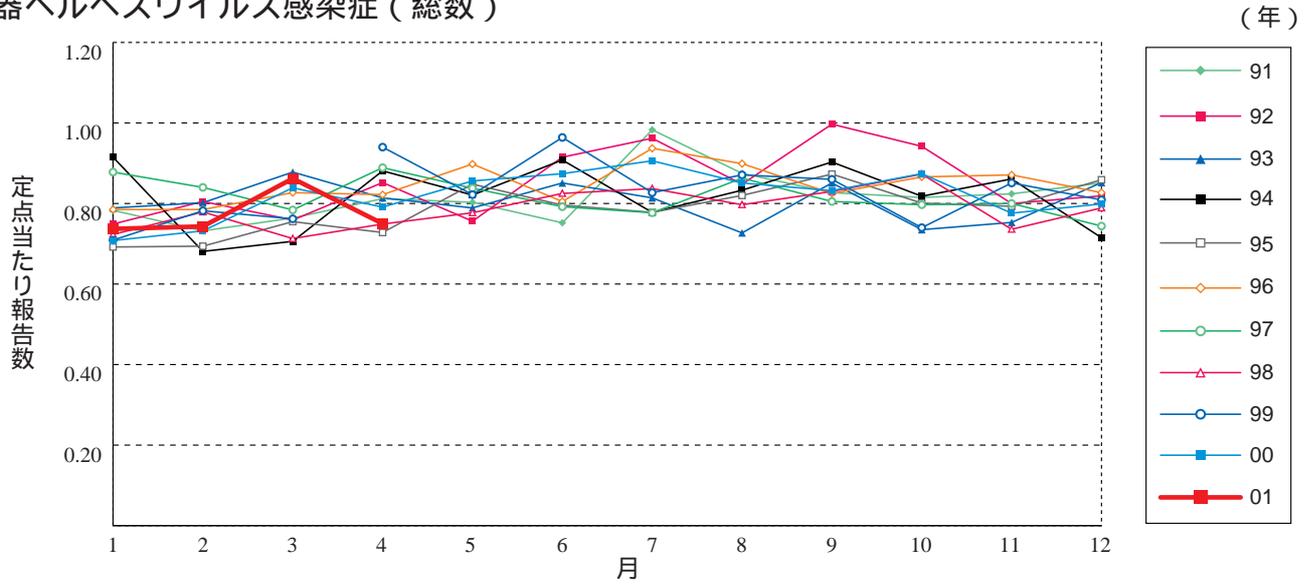
性器クラミジア感染症(男性)



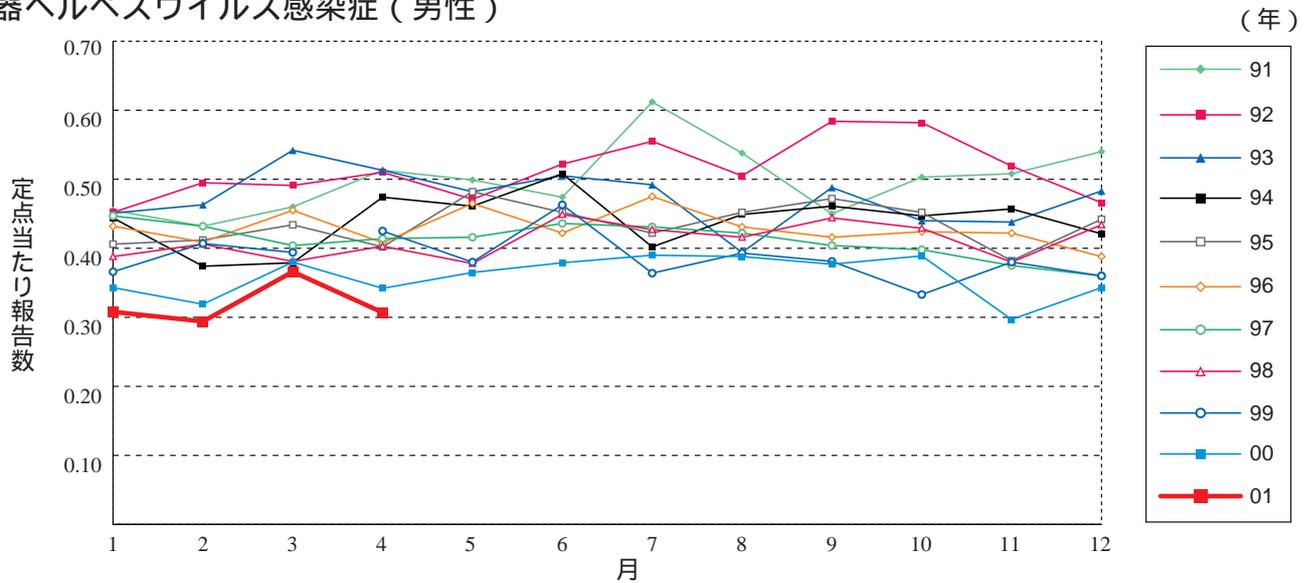
性器クラミジア感染症(女性)



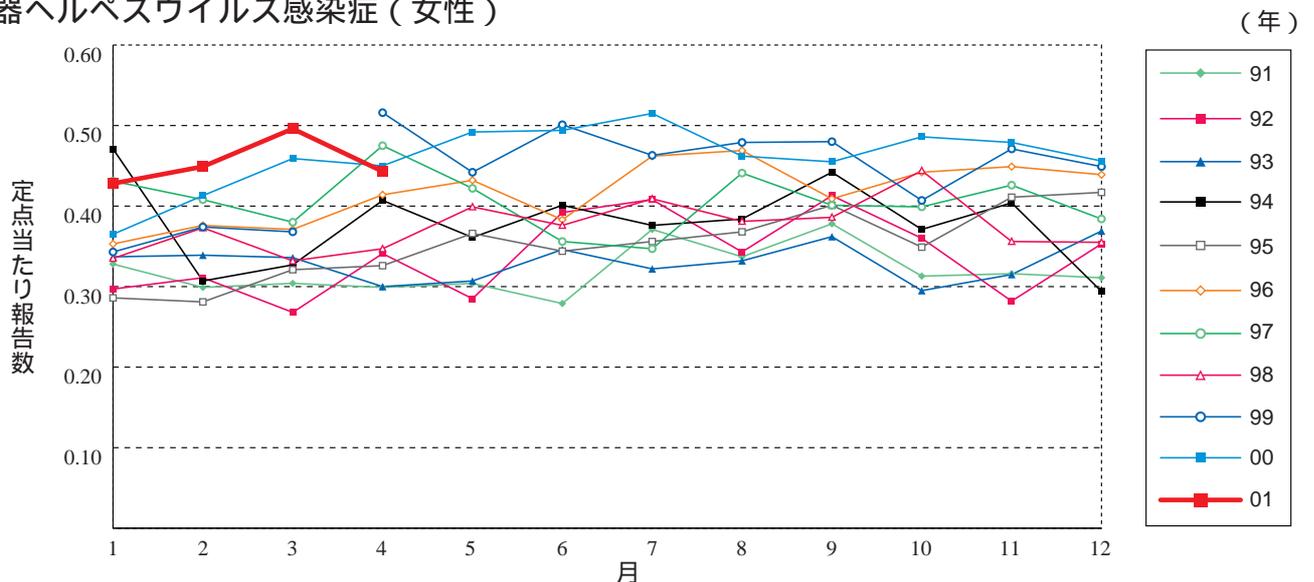
性器ヘルペスウイルス感染症（総数）



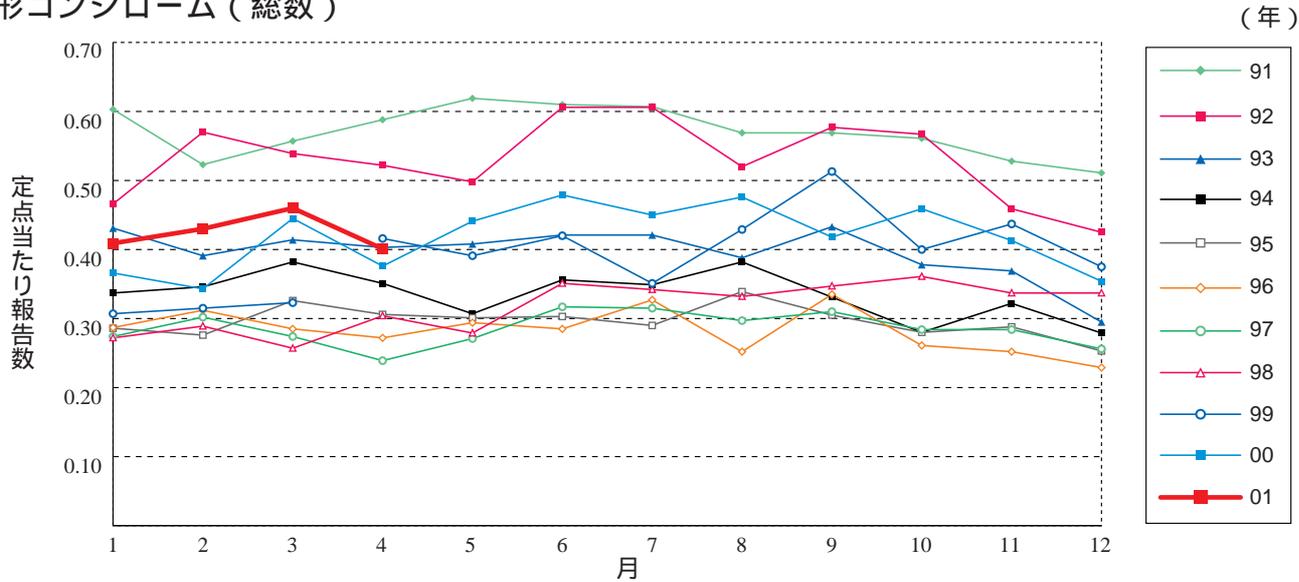
性器ヘルペスウイルス感染症（男性）



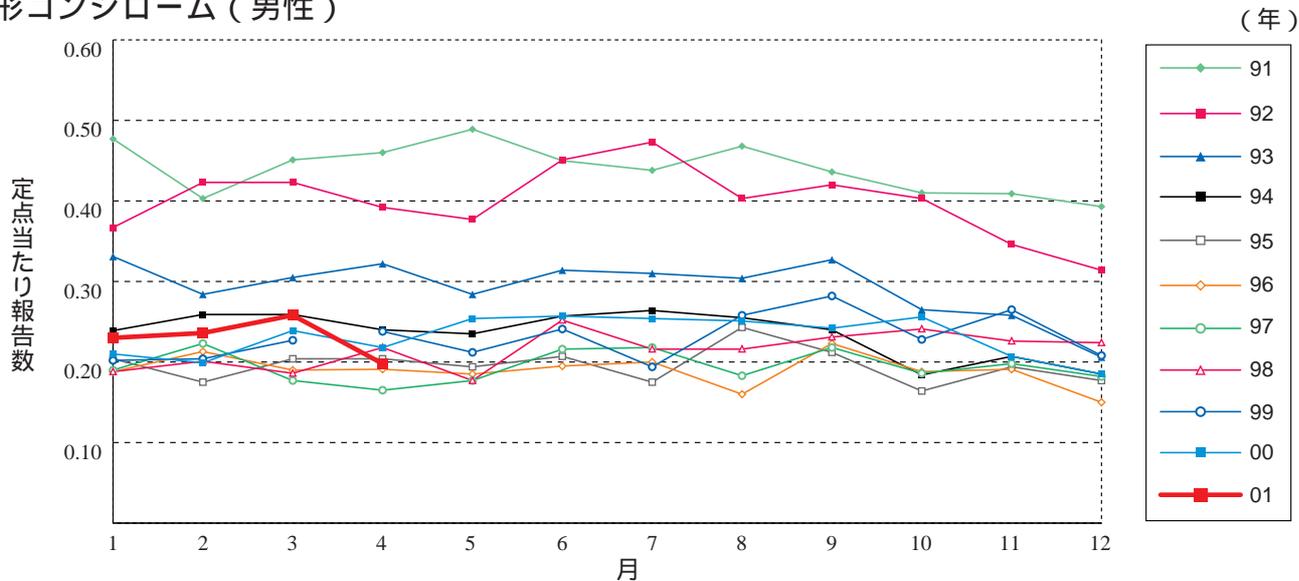
性器ヘルペスウイルス感染症（女性）



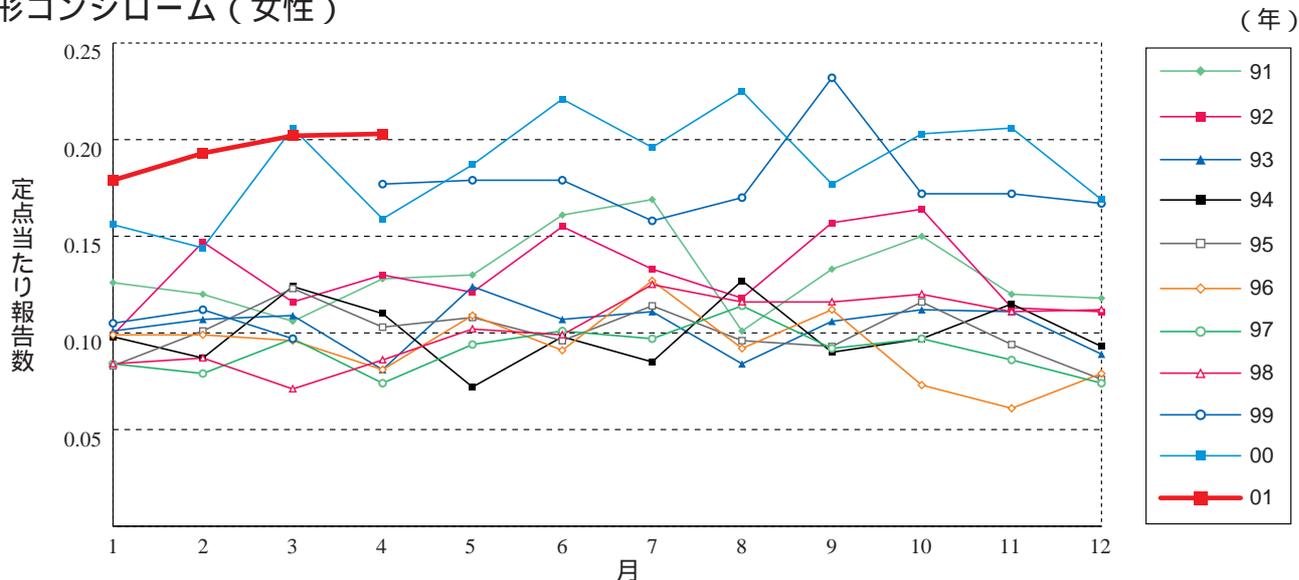
尖形コンジローム (総数)



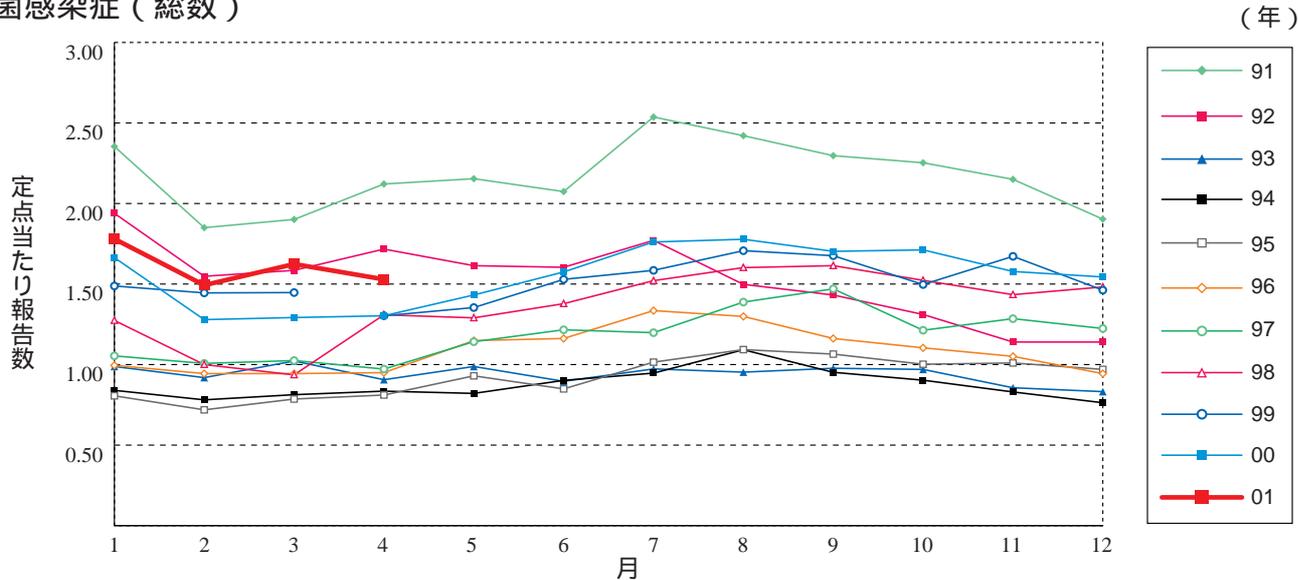
尖形コンジローム (男性)



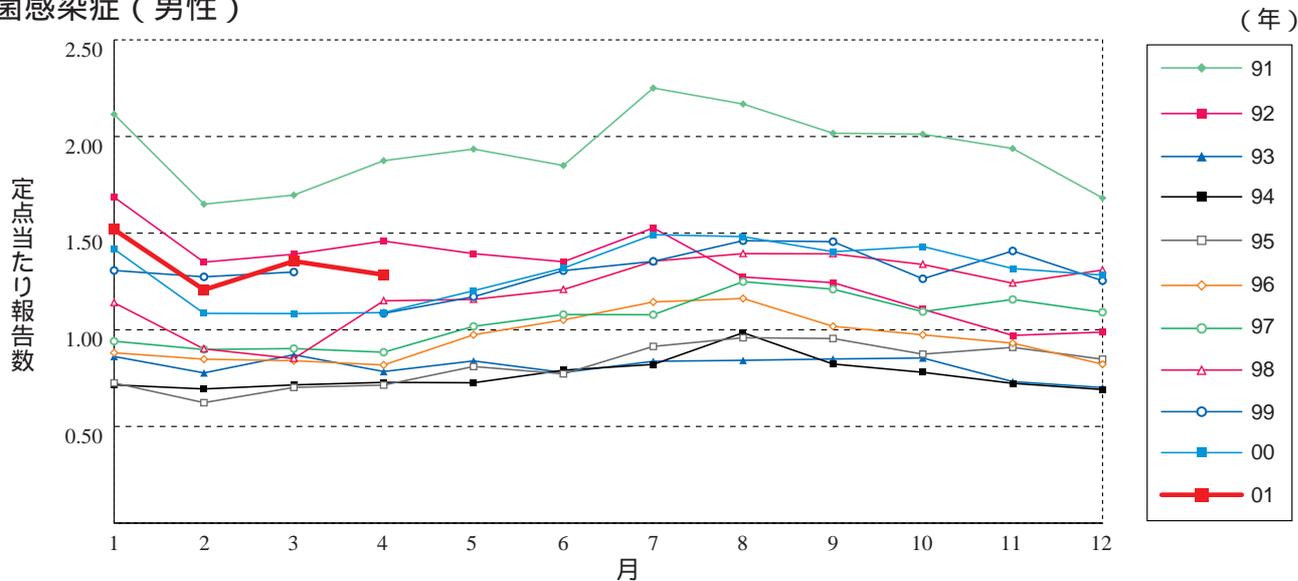
尖形コンジローム (女性)



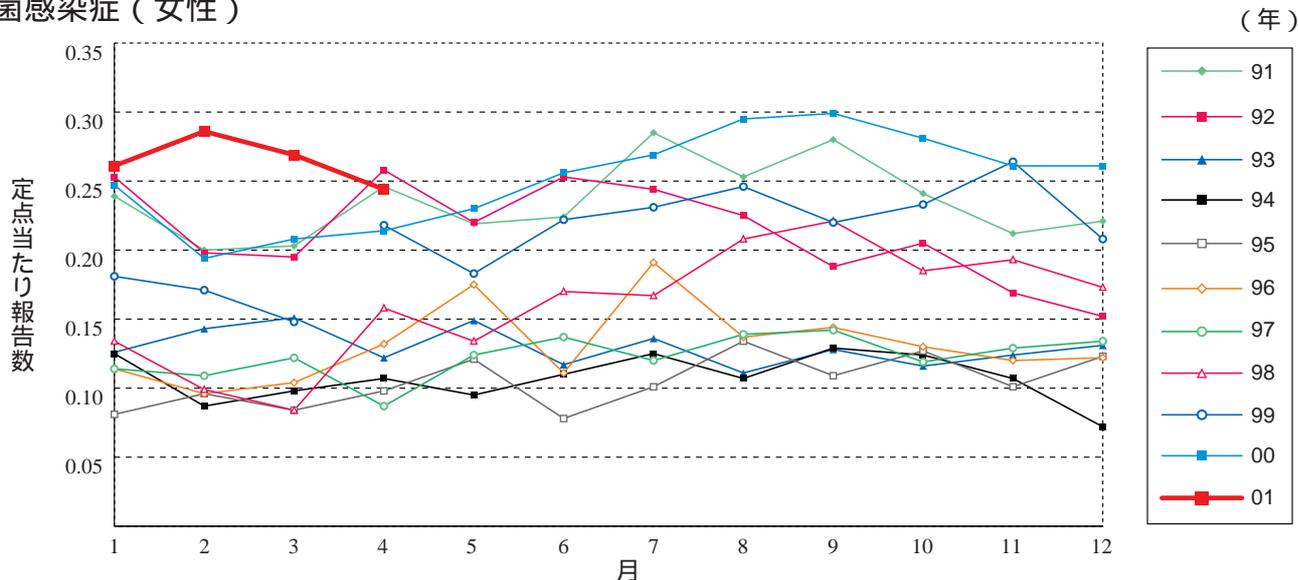
淋菌感染症 (総数)



淋菌感染症 (男性)

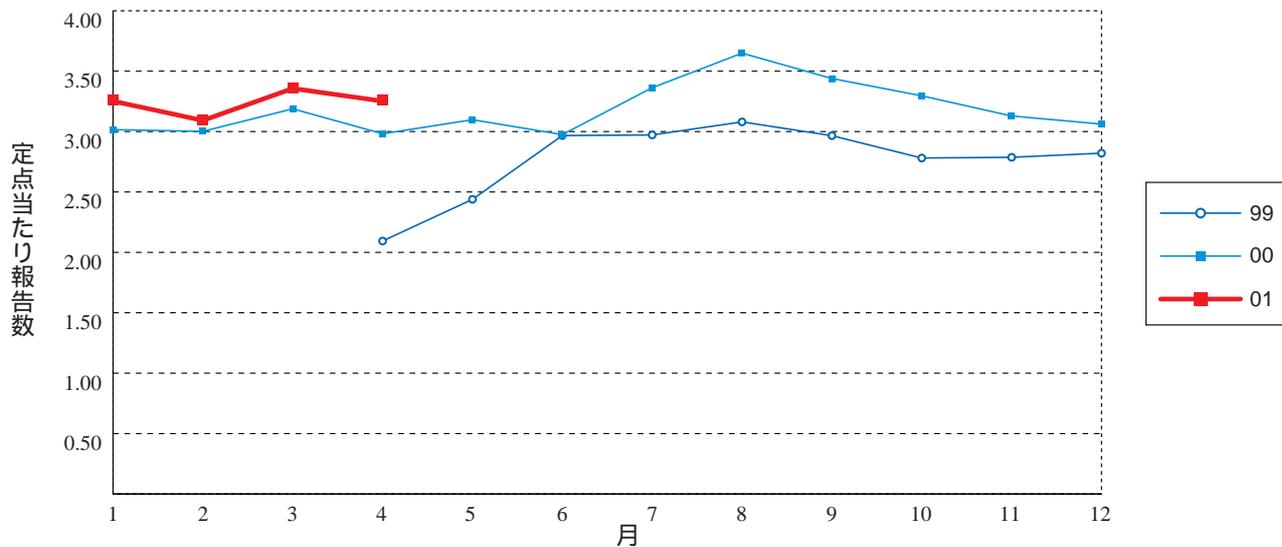


淋菌感染症 (女性)



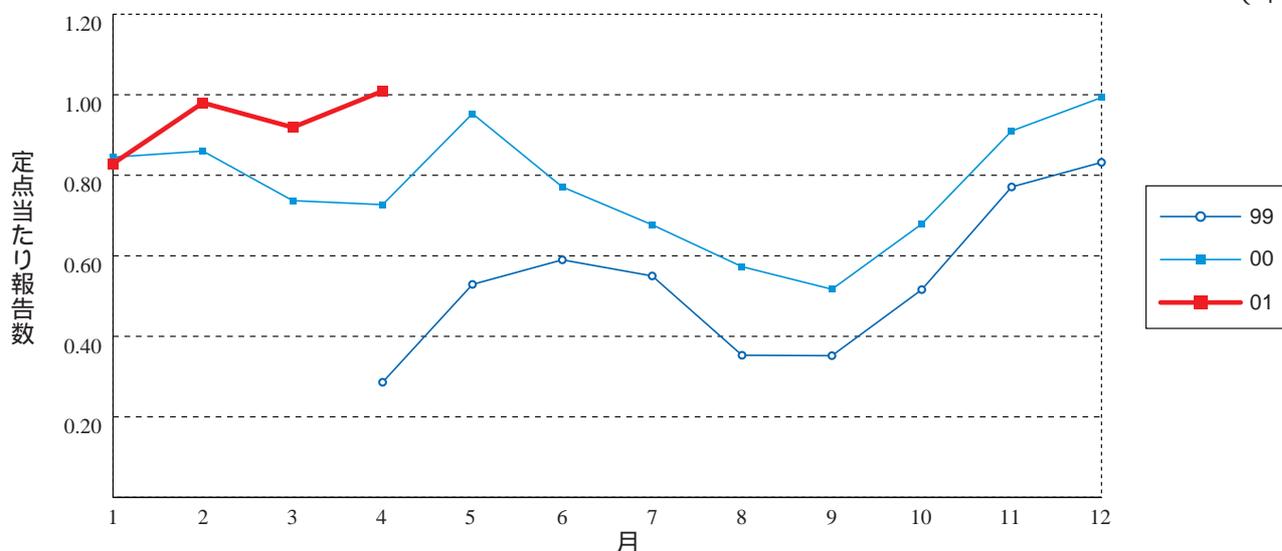
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

(年)



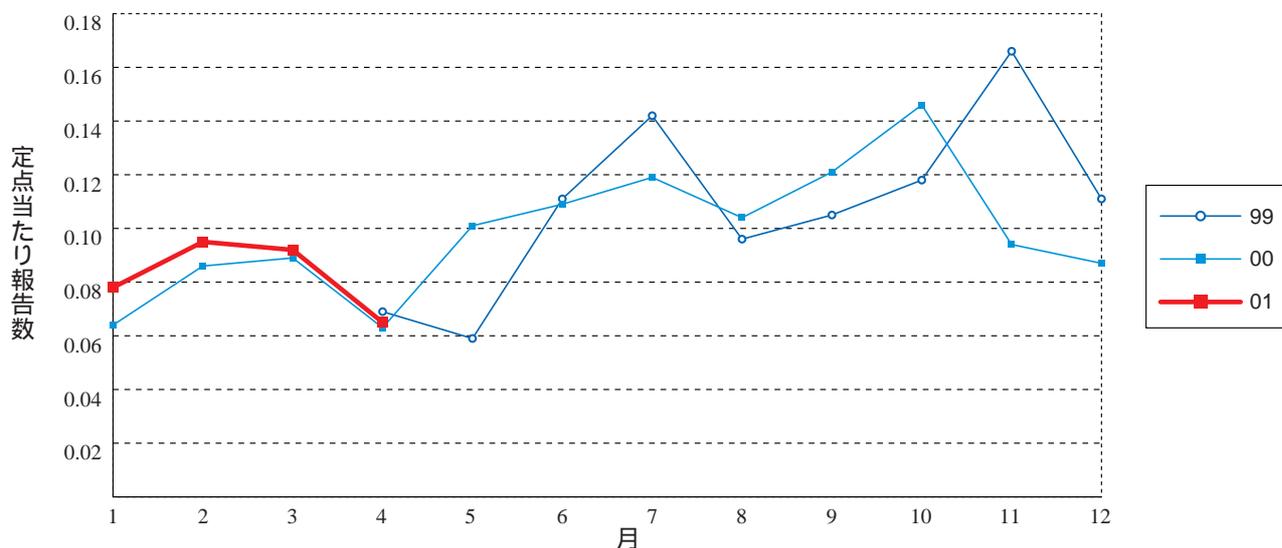
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

(年)



薬剤耐緑膿菌感染症

(年)





4月のデータ

注)表中の報告数は5月11日集計分であり、その後の報告数は次月以降の累計に反映されます。

第3121表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県・性別(総数)

平成13年4月

	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖形コンジローム		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	2841	3.14	679	0.75	363	0.40	1384	1.53	1450	3.26	449	1.01	29	0.07
北海道	192	4.47	39	0.91	24	0.56	78	1.81	42	1.91	3	0.14	-	-
青森県	16	1.23	6	0.46	4	0.31	6	0.46	12	2.00	-	-	-	-
岩手県	59	4.54	7	0.54	6	0.46	15	1.15	50	2.50	3	0.15	-	-
宮城県	71	3.94	14	0.78	10	0.56	37	2.06	66	5.50	25	2.08	-	-
秋田県	18	1.29	2	0.14	1	0.07	4	0.29	17	2.13	10	1.25	-	-
山形県	26	2.60	1	0.10	1	0.10	8	0.80	34	3.78	13	1.44	1	0.11
福島県	28	1.75	2	0.13	10	0.63	23	1.44	7	1.00	-	-	-	-
茨城県	100	5.88	9	0.53	3	0.18	28	1.65	18	2.00	-	-	1	0.11
栃木県	60	3.75	7	0.44	5	0.31	41	2.56	24	3.43	3	0.43	1	0.14
群馬県	158	6.32	24	0.96	5	0.20	43	1.72	41	4.10	11	1.10	-	-
埼玉県	164	3.22	45	0.88	18	0.35	66	1.29	28	3.11	1	0.11	-	-
千葉県	102	2.62	29	0.74	14	0.36	27	0.69	21	2.33	57	6.33	-	-
東京都	192	4.68	80	1.95	51	1.24	107	2.61	111	5.84	29	1.53	3	0.16
神奈川県	135	2.25	24	0.40	15	0.25	73	1.22	21	1.91	9	0.82	-	-
新潟県	28	1.47	8	0.42	6	0.32	34	1.79	24	1.85	3	0.23	-	-
富山県	14	2.00	4	0.57	6	0.86	6	0.86	18	3.60	14	2.80	-	-
石川県	22	2.20	7	0.70	2	0.20	8	0.80	6	1.20	8	1.60	-	-
福井県	12	2.40	3	0.60	1	0.20	1	0.20	26	4.33	9	1.50	-	-
山梨県	22	3.67	1	0.17	-	-	8	1.33	22	2.20	26	2.60	2	0.20
長野県	69	4.31	8	0.50	6	0.38	27	1.69	47	4.27	14	1.27	-	-
岐阜県	16	1.07	5	0.33	3	0.20	13	0.87	12	2.40	2	0.40	-	-
静岡県	49	1.63	9	0.30	3	0.10	17	0.57	49	4.90	15	1.50	-	-
愛知県	166	3.25	31	0.61	18	0.35	113	2.22	30	2.50	1	0.08	1	0.08
三重県	23	1.53	9	0.60	1	0.07	11	0.73	43	4.78	2	0.22	-	-
滋賀県	9	1.00	4	0.44	-	-	8	0.89	27	3.86	2	0.29	-	-
京都府	138	6.00	9	0.39	9	0.39	6	0.26	2	0.29	-	-	-	-
大阪府	255	4.32	132	2.24	45	0.76	223	3.78	35	3.89	6	0.67	1	0.11
兵庫県	103	2.24	29	0.63	13	0.28	45	0.98	46	3.29	10	0.71	1	0.07
奈良県	12	1.33	5	0.56	4	0.44	15	1.67	18	3.00	14	2.33	-	-
和歌山県	9	1.13	6	0.75	3	0.38	3	0.38	27	2.70	5	0.50	4	0.40
鳥取県	24	4.80	2	0.40	1	0.20	5	1.00	5	1.00	2	0.40	-	-
島根県	15	2.50	1	0.17	-	-	7	1.17	65	8.13	19	2.38	-	-
岡山県	57	3.35	11	0.65	6	0.35	35	2.06	10	2.50	1	0.25	-	-
広島県	58	3.41	10	0.59	20	1.18	15	0.88	123	8.79	51	3.64	2	0.14
山口県	28	2.33	7	0.58	10	0.83	16	1.33	31	4.43	14	2.00	2	0.29
徳島県	8	1.33	2	0.33	-	-	2	0.33	16	2.29	-	-	1	0.14
香川県	24	2.67	2	0.22	2	0.22	13	1.44	22	4.40	2	0.40	-	-
愛媛県	17	1.55	7	0.64	1	0.09	18	1.64	3	0.50	-	-	-	-
高知県	7	1.17	2	0.33	-	-	4	0.67	57	7.13	22	2.75	3	0.38
福岡県	124	3.65	19	0.56	17	0.50	72	2.12	22	1.29	7	0.41	-	-
佐賀県	25	3.57	1	0.14	-	-	16	2.29	11	1.83	5	0.83	-	-
長崎県	17	2.13	10	1.25	2	0.25	11	1.38	2	0.20	-	-	1	0.10
熊本県	58	4.14	24	1.71	5	0.36	26	1.86	43	2.87	7	0.47	2	0.13
大分県	4	0.40	8	0.80	-	-	8	0.80	34	3.40	-	-	2	0.20
宮崎県	41	3.73	9	0.82	1	0.09	1	0.09	19	2.71	1	0.14	1	0.14
鹿児島県	30	1.88	4	0.25	7	0.44	34	2.13	15	1.25	-	-	-	-
沖縄県	36	3.00	1	0.08	4	0.33	7	0.58	48	6.86	23	3.29	-	-

第3121表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県・性別(男)

平成13年4月

	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖形コンジローム		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	1257	1.39	278	0.31	179	0.20	1163	1.29	887	1.99	252	0.57	16	0.04
北海道	55	1.28	6	0.14	11	0.26	50	1.16	24	1.09	1	0.05	-	-
青森県	9	0.69	1	0.08	1	0.08	4	0.31	9	1.50	-	-	-	-
岩手県	20	1.54	6	0.46	1	0.08	14	1.08	27	1.35	2	0.10	-	-
宮城県	32	1.78	-	-	2	0.11	34	1.89	40	3.33	13	1.08	-	-
秋田県	5	0.36	-	-	-	-	4	0.29	11	1.38	5	0.63	-	-
山形県	18	1.80	-	-	-	-	7	0.70	22	2.44	8	0.89	1	0.11
福島県	17	1.06	1	0.06	5	0.31	22	1.38	4	0.57	-	-	-	-
茨城県	48	2.82	4	0.24	2	0.12	26	1.53	12	1.33	-	-	1	0.11
栃木県	34	2.13	1	0.06	1	0.06	41	2.56	12	1.71	1	0.14	1	0.14
群馬県	84	3.36	6	0.24	3	0.12	38	1.52	25	2.50	5	0.50	-	-
埼玉県	54	1.06	18	0.35	10	0.20	53	1.04	20	2.22	1	0.11	-	-
千葉県	24	0.62	14	0.36	7	0.18	22	0.56	11	1.22	31	3.44	-	-
東京都	94	2.29	42	1.02	28	0.68	92	2.24	76	4.00	18	0.95	1	0.05
神奈川県	84	1.40	15	0.25	11	0.18	67	1.12	11	1.00	5	0.45	-	-
新潟県	20	1.05	5	0.26	3	0.16	33	1.74	14	1.08	1	0.08	-	-
富山県	5	0.71	2	0.29	3	0.43	6	0.86	13	2.60	8	1.60	-	-
石川県	15	1.50	2	0.20	-	-	8	0.80	5	1.00	2	0.40	-	-
福井県	7	1.40	3	0.60	1	0.20	1	0.20	13	2.17	5	0.83	-	-
山梨県	3	0.50	1	0.17	-	-	6	1.00	14	1.40	18	1.80	2	0.20
長野県	31	1.94	2	0.13	1	0.06	20	1.25	29	2.64	11	1.00	-	-
岐阜県	11	0.73	2	0.13	3	0.20	12	0.80	8	1.60	1	0.20	-	-
静岡県	20	0.67	4	0.13	-	-	15	0.50	34	3.40	10	1.00	-	-
愛知県	111	2.18	23	0.45	13	0.25	108	2.12	21	1.75	1	0.08	-	-
三重県	10	0.67	6	0.40	-	-	11	0.73	26	2.89	1	0.11	-	-
滋賀県	4	0.44	-	-	-	-	7	0.78	16	2.29	1	0.14	-	-
京都府	9	0.39	-	-	5	0.22	5	0.22	1	0.14	-	-	-	-
大阪府	146	2.47	62	1.05	22	0.37	161	2.73	21	2.33	3	0.33	1	0.11
兵庫県	51	1.11	7	0.15	9	0.20	41	0.89	29	2.07	7	0.50	1	0.07
奈良県	8	0.89	3	0.33	4	0.44	15	1.67	10	1.67	11	1.83	-	-
和歌山県	3	0.38	2	0.25	3	0.38	3	0.38	12	1.20	2	0.20	2	0.20
鳥取県	4	0.80	-	-	1	0.20	5	1.00	3	0.60	1	0.20	-	-
島根県	5	0.83	-	-	-	-	7	1.17	37	4.63	13	1.63	-	-
岡山県	17	1.00	1	0.06	2	0.12	26	1.53	7	1.75	1	0.25	-	-
広島県	21	1.24	3	0.18	2	0.12	11	0.65	79	5.64	20	1.43	1	0.07
山口県	9	0.75	3	0.25	4	0.33	12	1.00	20	2.86	10	1.43	1	0.14
徳島県	3	0.50	1	0.17	-	-	2	0.33	7	1.00	-	-	-	-
香川県	10	1.11	2	0.22	2	0.22	10	1.11	12	2.40	1	0.20	-	-
愛媛県	6	0.55	3	0.27	1	0.09	18	1.64	3	0.50	-	-	-	-
高知県	3	0.50	-	-	-	-	3	0.50	28	3.50	11	1.38	2	0.25
福岡県	61	1.79	8	0.24	8	0.24	58	1.71	15	0.88	2	0.12	-	-
佐賀県	16	2.29	-	-	-	-	15	2.14	7	1.17	3	0.50	-	-
長崎県	1	0.13	4	0.50	-	-	11	1.38	2	0.20	-	-	-	-
熊本県	18	1.29	4	0.29	4	0.29	20	1.43	26	1.73	4	0.27	1	0.07
大分県	4	0.40	4	0.40	-	-	8	0.80	21	2.10	-	-	-	-
宮崎県	23	2.09	4	0.36	1	0.09	1	0.09	14	2.00	1	0.14	1	0.14
鹿児島県	21	1.31	3	0.19	4	0.25	27	1.69	8	0.67	-	-	-	-
沖縄県	3	0.25	-	-	1	0.08	3	0.25	28	4.00	13	1.86	-	-

第3121表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県・性別(女)

平成13年4月

	性器クラミジア 感染症		性器ヘルペス ウイルス感染症		尖形コンジローム		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色 ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症		薬剤耐性 緑膿菌感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	1584	1.75	401	0.44	184	0.20	221	0.24	563	1.27	197	0.44	13	0.03
北海道	137	3.19	33	0.77	13	0.30	28	0.65	18	0.82	2	0.09	-	-
青森県	7	0.54	5	0.38	3	0.23	2	0.15	3	0.50	-	-	-	-
岩手県	39	3.00	1	0.08	5	0.38	1	0.08	23	1.15	1	0.05	-	-
宮城県	39	2.17	14	0.78	8	0.44	3	0.17	26	2.17	12	1.00	-	-
秋田県	13	0.93	2	0.14	1	0.07	-	-	6	0.75	5	0.63	-	-
山形県	8	0.80	1	0.10	1	0.10	1	0.10	12	1.33	5	0.56	-	-
福島県	11	0.69	1	0.06	5	0.31	1	0.06	3	0.43	-	-	-	-
茨城県	52	3.06	5	0.29	1	0.06	2	0.12	6	0.67	-	-	-	-
栃木県	26	1.63	6	0.38	4	0.25	-	-	12	1.71	2	0.29	-	-
群馬県	74	2.96	18	0.72	2	0.08	5	0.20	16	1.60	6	0.60	-	-
埼玉県	110	2.16	27	0.53	8	0.16	13	0.25	8	0.89	-	-	-	-
千葉県	78	2.00	15	0.38	7	0.18	5	0.13	10	1.11	26	2.89	-	-
東京都	98	2.39	38	0.93	23	0.56	15	0.37	35	1.84	11	0.58	2	0.11
神奈川県	51	0.85	9	0.15	4	0.07	6	0.10	10	0.91	4	0.36	-	-
新潟県	8	0.42	3	0.16	3	0.16	1	0.05	10	0.77	2	0.15	-	-
富山県	9	1.29	2	0.29	3	0.43	-	-	5	1.00	6	1.20	-	-
石川県	7	0.70	5	0.50	2	0.20	-	-	1	0.20	6	1.20	-	-
福井県	5	1.00	-	-	-	-	-	-	13	2.17	4	0.67	-	-
山梨県	19	3.17	-	-	-	-	2	0.33	8	0.80	8	0.80	-	-
長野県	38	2.38	6	0.38	5	0.31	7	0.44	18	1.64	3	0.27	-	-
岐阜県	5	0.33	3	0.20	-	-	1	0.07	4	0.80	1	0.20	-	-
静岡県	29	0.97	5	0.17	3	0.10	2	0.07	15	1.50	5	0.50	-	-
愛知県	55	1.08	8	0.16	5	0.10	5	0.10	9	0.75	-	-	1	0.08
三重県	13	0.87	3	0.20	1	0.07	-	-	17	1.89	1	0.11	-	-
滋賀県	5	0.56	4	0.44	-	-	1	0.11	11	1.57	1	0.14	-	-
京都府	129	5.61	9	0.39	4	0.17	1	0.04	1	0.14	-	-	-	-
大阪府	109	1.85	70	1.19	23	0.39	62	1.05	14	1.56	3	0.33	-	-
兵庫県	52	1.13	22	0.48	4	0.09	4	0.09	17	1.21	3	0.21	-	-
奈良県	4	0.44	2	0.22	-	-	-	-	8	1.33	3	0.50	-	-
和歌山県	6	0.75	4	0.50	-	-	-	-	15	1.50	3	0.30	2	0.20
鳥取県	20	4.00	2	0.40	-	-	-	-	2	0.40	1	0.20	-	-
島根県	10	1.67	1	0.17	-	-	-	-	28	3.50	6	0.75	-	-
岡山県	40	2.35	10	0.59	4	0.24	9	0.53	3	0.75	-	-	-	-
広島県	37	2.18	7	0.41	18	1.06	4	0.24	44	3.14	31	2.21	1	0.07
山口県	19	1.58	4	0.33	6	0.50	4	0.33	11	1.57	4	0.57	1	0.14
徳島県	5	0.83	1	0.17	-	-	-	-	9	1.29	-	-	1	0.14
香川県	14	1.56	-	-	-	-	3	0.33	10	2.00	1	0.20	-	-
愛媛県	11	1.00	4	0.36	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	4	0.67	2	0.33	-	-	1	0.17	29	3.63	11	1.38	1	0.13
福岡県	63	1.85	11	0.32	9	0.26	14	0.41	7	0.41	5	0.29	-	-
佐賀県	9	1.29	1	0.14	-	-	1	0.14	4	0.67	2	0.33	-	-
長崎県	16	2.00	6	0.75	2	0.25	-	-	-	-	-	-	1	0.10
熊本県	40	2.86	20	1.43	1	0.07	6	0.43	17	1.13	3	0.20	1	0.07
大分県	-	-	4	0.40	-	-	-	-	13	1.30	-	-	2	0.20
宮崎県	18	1.64	5	0.45	-	-	-	-	5	0.71	-	-	-	-
鹿児島県	9	0.56	1	0.06	3	0.19	7	0.44	7	0.58	-	-	-	-
沖縄県	33	2.75	1	0.08	3	0.25	4	0.33	20	2.86	10	1.43	-	-

注 5月21日集計分

第1104表 新登録患者数・都道府県別

平成13年4月

	結核
	報告数
総数	2754
北海道	85
青森県	34
岩手県	14
宮城県	23
秋田県	22
山形県	8
福島県	35
茨城県	50
栃木県	34
群馬県	17
埼玉県	132
千葉県	102
東京都	347
神奈川県	162
新潟県	53
富山県	21
石川県	20
福井県	6
山梨県	12
長野県	28
岐阜県	49
静岡県	59
愛知県	177
三重県	42
滋賀県	25
京都府	65
大阪府	372
兵庫県	150
奈良県	41
和歌山県	25
鳥取県	8
島根県	12
岡山県	34
広島県	50
山口県	43
徳島県	11
香川県	21
愛媛県	18
高知県	17
福岡県	128
佐賀県	21
長崎県	34
熊本県	24
大分県	28
宮崎県	20
鹿児島県	42
沖縄県	33



19週のデータ

注)表中の報告数は5月21日集計分であり、その後の報告数は次週以降の累計に反映されます。

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成13年19週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		パラチフス	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	19	248	-	20	2	8	
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	1	-	-	
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	13	-	-	-	-	
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	12	-	1	-	-	
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	6	48	-	6	1	5	
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	20	-	-	-	2	
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	8	-	-	-	-	
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	1	-	-	
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	4	18	-	2	1	1	
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	9	-	-	-	-	
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	19	-	4	-	
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18	-	-	-	-	
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	4	-	-	-	-	
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	12	-	1	-	-	
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5	-	-	-	-	
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成13年19週

	急性灰白髄炎		ジフテリア		腸管出血性大腸菌感染症		アメーバ赤痢		エキノコックス症		黄熱		オウム病		回歸熱		ウイルス性肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	25	555	5	125	-	2	-	-	1	11	-	-	9	252
北海道	-	-	-	-	-	8	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	4
青森県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
宮城県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11
秋田県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
茨城県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
栃木県	-	-	-	-	1	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
群馬県	-	-	-	-	-	8	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
埼玉県	-	-	-	-	-	36	-	6	-	-	-	-	-	1	-	-	-	5
千葉県	-	-	-	-	1	137	-	5	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
東京都	-	-	-	-	1	34	1	36	-	-	-	-	1	5	-	-	1	37
神奈川県	-	-	-	-	-	38	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
新潟県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
富山県	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
石川県	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
福井県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
長野県	-	-	-	-	-	5	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
岐阜県	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	2	24
静岡県	-	-	-	-	-	11	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
愛知県	-	-	-	-	2	25	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
三重県	-	-	-	-	-	5	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
滋賀県	-	-	-	-	-	11	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	4	26	2	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
大阪府	-	-	-	-	4	61	-	21	-	-	-	-	-	1	-	-	-	28
兵庫県	-	-	-	-	-	13	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	3	25
奈良県	-	-	-	-	-	16	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
鳥取県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
島根県	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	2	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	10
広島県	-	-	-	-	4	20	1	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	8
山口県	-	-	-	-	-	7	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
徳島県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
愛媛県	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
高知県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
福岡県	-	-	-	-	3	18	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	1	10
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	1	14	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3
熊本県	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
大分県	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
宮崎県	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
鹿児島県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
沖縄県	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成13年19週

	Q熱		狂犬病		クリプトスפורジウム症		クロイツフェルト・ヤコブ病		劇症型溶血性レンサ球菌感染症		後天性免疫不全症候群		コクシジオイデス症		ジアルジア症		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	7	-	-	-	3	-	31	1	18	7	293	-	1	1	48	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	5	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	7	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	7	-	-	-	2	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	16	-	-	-	1	-	-
東京都	-	-	-	-	-	2	-	2	-	1	2	134	-	-	1	28	-	-
神奈川県	-	1	-	-	-	1	-	3	-	-	-	34	-	-	-	4	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	3	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	1	-	-	-	-	-	2	1	2	1	11	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	6	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	5	-	-	-	5	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	16	-	-	-	5	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	1	6	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成13年19週

	髄膜炎菌性 髄膜炎		先天性風疹 症候群		炭 疽		ツツガムシ病		デング熱		日本紅斑熱		日本脳炎		乳児 ボツリヌス症		梅 毒	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	3	-	-	-	-	6	70	-	9	-	1	-	-	-	-	7	178
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
青森県	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
宮城県	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	2	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
山形県	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福島県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	3
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
千葉県	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
東京都	-	1	-	-	-	-	-	2	-	6	-	-	-	-	-	-	-	35
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	4
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
愛知県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	32
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	10
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
広島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
大分県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成13年19週

	破傷風		バンコマイシン耐性腸球菌感染症		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症		発疹チフス		マラリア		ライム病		レジオネラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	15	-	14	-	-	-	-	-	-	-	-	1	31	-	-	-	27
北海道	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3
栃木県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
千葉県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
東京都	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	4
神奈川県	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-	-	1
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
富山県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
大阪府	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
熊本県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成13年19週

	インフルエンザ		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水 痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百 日 咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	1831	0.40	460	0.15	3136	1.05	15471	5.16	8426	2.81	1133	0.38	1807	0.60	2397	0.80	42	0.01
北海道	139	0.60	10	0.07	203	1.40	354	2.44	380	2.62	4	0.03	36	0.25	97	0.67	1	0.01
青森県	30	0.47	-	-	12	0.29	96	2.29	102	2.43	9	0.21	16	0.38	17	0.40	-	-
岩手県	148	2.43	-	-	27	0.73	85	2.30	62	1.68	2	0.05	14	0.38	13	0.35	-	-
宮城県	115	1.19	11	0.19	109	1.85	406	6.88	168	2.85	1	0.02	56	0.95	46	0.78	-	-
秋田県	77	1.40	-	-	40	1.14	138	3.94	43	1.23	1	0.03	20	0.57	25	0.71	-	-
山形県	88	1.83	-	-	56	1.87	176	5.87	50	1.67	-	-	34	1.13	28	0.93	1	0.03
福島県	16	0.20	1	0.02	38	0.79	210	4.38	115	2.40	3	0.06	32	0.67	41	0.85	1	0.02
茨城県	21	0.18	1	0.01	73	1.00	280	3.84	120	1.64	2	0.03	31	0.42	37	0.51	-	-
栃木県	3	0.04	2	0.04	90	1.96	192	4.17	104	2.26	1	0.02	17	0.37	37	0.80	-	-
群馬県	3	0.03	9	0.15	125	2.02	297	4.79	161	2.60	6	0.10	54	0.87	66	1.06	-	-
埼玉県	69	0.27	27	0.17	277	1.74	1032	6.49	544	3.42	35	0.22	238	1.50	146	0.92	5	0.03
千葉県	18	0.09	28	0.22	199	1.55	643	5.02	496	3.88	25	0.20	158	1.23	112	0.88	-	-
東京都	12	0.07	7	0.05	69	0.49	488	3.44	256	1.80	12	0.08	80	0.56	78	0.55	-	-
神奈川県	39	0.13	36	0.17	186	0.90	911	4.42	658	3.19	26	0.13	116	0.56	184	0.89	-	-
新潟県	60	0.61	40	0.68	144	2.44	487	8.25	154	2.61	10	0.17	5	0.08	57	0.97	1	0.02
富山県	40	0.83	1	0.03	50	1.72	194	6.69	72	2.48	1	0.03	19	0.66	23	0.79	-	-
石川県	7	0.15	2	0.07	17	0.59	360	12.41	49	1.69	2	0.07	10	0.34	12	0.41	3	0.10
福井県	1	0.03	5	0.23	34	1.55	238	10.82	76	3.45	18	0.82	21	0.95	15	0.68	-	-
山梨県	102	2.49	1	0.04	20	0.80	66	2.64	68	2.72	13	0.52	19	0.76	13	0.52	-	-
長野県	69	0.80	2	0.04	74	1.37	359	6.65	263	4.87	9	0.17	21	0.39	44	0.81	-	-
岐阜県	44	0.59	9	0.19	56	1.19	191	4.06	75	1.60	12	0.26	24	0.51	33	0.70	-	-
静岡県	26	0.19	8	0.09	69	0.80	499	5.80	324	3.77	6	0.07	67	0.78	90	1.05	3	0.03
愛知県	122	0.64	59	0.32	221	1.21	816	4.48	544	2.99	26	0.14	148	0.81	141	0.77	2	0.01
三重県	44	0.60	8	0.18	67	1.49	382	8.49	154	3.42	18	0.40	44	0.98	57	1.27	-	-
滋賀県	6	0.12	37	1.16	15	0.47	164	5.13	54	1.69	2	0.06	8	0.25	21	0.66	2	0.06
京都府	50	0.40	8	0.11	42	0.55	604	7.95	112	1.47	9	0.12	28	0.37	47	0.62	-	-
大阪府	22	0.07	9	0.05	123	0.63	1014	5.23	489	2.52	18	0.09	45	0.23	146	0.75	9	0.05
兵庫県	46	0.23	26	0.20	92	0.72	1050	8.20	382	2.98	89	0.70	67	0.52	128	1.00	1	0.01
奈良県	-	-	1	0.03	22	0.63	230	6.57	109	3.11	2	0.06	20	0.57	25	0.71	-	-
和歌山県	13	0.27	1	0.03	26	0.84	159	5.13	96	3.10	4	0.13	3	0.10	34	1.10	-	-
鳥取県	1	0.03	4	0.21	59	3.11	143	7.53	76	4.00	-	-	4	0.21	21	1.11	-	-
島根県	46	1.21	-	-	6	0.26	90	3.91	39	1.70	2	0.09	2	0.09	17	0.74	-	-
岡山県	21	0.25	6	0.11	34	0.63	232	4.30	136	2.52	4	0.07	10	0.19	18	0.33	1	0.02
広島県	12	0.15	8	0.16	74	1.45	291	5.71	179	3.51	5	0.10	56	1.10	53	1.04	1	0.02
山口県	19	0.27	43	0.88	47	0.96	264	5.39	176	3.59	68	1.39	41	0.84	52	1.06	2	0.04
徳島県	14	0.37	-	-	28	1.22	92	4.00	54	2.35	8	0.35	3	0.13	12	0.52	-	-
香川県	8	0.16	4	0.13	15	0.47	128	4.00	40	1.25	3	0.09	16	0.50	33	1.03	1	0.03
愛媛県	37	0.58	2	0.05	37	0.95	231	5.92	152	3.90	4	0.10	31	0.79	32	0.82	-	-
高知県	3	0.06	4	0.13	38	1.23	113	3.65	111	3.58	1	0.03	3	0.10	20	0.65	1	0.03
福岡県	39	0.24	-	-	54	0.51	298	2.84	199	1.90	164	1.56	52	0.50	56	0.53	2	0.02
佐賀県	5	0.13	1	0.04	18	0.78	92	4.00	102	4.43	42	1.83	18	0.78	38	1.65	-	-
長崎県	1	0.02	4	0.08	4	0.08	195	4.06	85	1.77	60	1.25	6	0.13	22	0.46	1	0.02
熊本県	12	0.15	20	0.41	32	0.65	196	4.00	203	4.14	113	2.31	32	0.65	54	1.10	2	0.04
大分県	35	0.60	3	0.08	27	0.75	291	8.08	121	3.36	111	3.08	18	0.50	37	1.03	2	0.06
宮崎県	33	0.55	3	0.08	47	1.27	295	7.97	140	3.78	116	3.14	38	1.03	44	1.19	-	-
鹿児島県	68	0.71	6	0.10	35	0.58	365	6.08	193	3.22	62	1.03	24	0.40	59	0.98	-	-
沖縄県	47	0.81	3	0.09	5	0.15	34	1.00	140	4.12	4	0.12	2	0.06	16	0.47	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成13年19週

	風 疹		ヘルパンギーナ		麻 疹 (成人麻疹を除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		急性脳炎 (日本脳炎を除く)		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	92	0.03	380	0.13	1641	0.55	5252	1.75	33	0.05	1005	1.60	7	0.02	5	0.01	22	0.05
北海道	2	0.01	5	0.03	153	1.06	206	1.42	-	-	36	1.24	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	4	0.10	9	0.21	41	0.98	-	-	16	1.45	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	1	0.03	17	0.46	12	0.32	2	0.17	11	0.92	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	4	0.07	32	0.54	34	0.58	-	-	9	0.82	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	3	0.09	28	0.80	37	1.06	-	-	1	0.14	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	56	1.87	-	-	7	0.88	-	-	1	0.10	1	0.10
福島県	1	0.02	6	0.13	41	0.85	45	0.94	2	0.17	24	2.00	-	-	-	-	-	-
茨城県	3	0.04	1	0.01	19	0.26	109	1.49	-	-	84	5.25	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	6	0.13	4	0.09	28	0.61	4	0.33	43	3.58	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	6	0.10	19	0.31	57	0.92	1	0.07	65	4.64	-	-	-	-	-	-
埼玉県	3	0.02	15	0.09	41	0.26	407	2.56	1	0.03	59	1.64	-	-	-	-	2	0.22
千葉県	4	0.03	5	0.04	95	0.74	288	2.25	1	0.03	58	1.76	-	-	-	-	-	-
東京都	1	0.01	17	0.12	34	0.24	138	0.97	-	-	33	2.36	-	-	-	-	3	0.12
神奈川県	5	0.02	15	0.07	56	0.27	436	2.12	3	0.07	88	2.10	-	-	1	0.09	-	-
新潟県	1	0.02	4	0.07	3	0.05	201	3.41	-	-	7	0.78	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	4	0.14	-	-	40	1.38	-	-	6	0.86	-	-	-	-	-	-
石川県	1	0.03	1	0.03	24	0.83	65	2.24	-	-	5	0.71	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	4	0.18	5	0.23	156	7.09	1	0.33	16	5.33	-	-	-	-	1	0.17
山梨県	-	-	-	-	1	0.04	8	0.32	-	-	3	1.00	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	35	0.65	150	2.78	2	0.20	22	2.20	-	-	-	-	1	0.09
岐阜県	-	-	7	0.15	13	0.28	55	1.17	-	-	9	0.82	-	-	-	-	-	-
静岡県	1	0.01	4	0.05	25	0.29	177	2.06	-	-	25	1.25	-	-	-	-	1	0.13
愛知県	5	0.03	27	0.15	99	0.54	336	1.85	-	-	60	1.71	-	-	1	0.08	-	-
三重県	1	0.02	9	0.20	5	0.11	122	2.71	-	-	12	1.00	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	8	0.25	64	2.00	-	-	8	1.14	-	-	-	-	-	-
京都府	13	0.17	9	0.12	24	0.32	94	1.24	1	0.06	9	0.50	-	-	-	-	-	-
大阪府	15	0.08	58	0.30	106	0.55	304	1.57	-	-	28	0.54	-	-	-	-	3	0.25
兵庫県	5	0.04	28	0.22	27	0.21	161	1.26	-	-	35	1.00	-	-	-	-	1	0.07
奈良県	1	0.03	7	0.20	25	0.71	61	1.74	1	0.11	25	2.78	-	-	-	-	2	0.33
和歌山県	2	0.06	9	0.29	12	0.39	37	1.19	-	-	5	1.25	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	3	0.16	3	0.16	6	0.32	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.20
島根県	-	-	2	0.09	-	-	24	1.04	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-
岡山県	1	0.02	8	0.15	34	0.63	49	0.91	-	-	11	0.92	-	-	-	-	-	-
広島県	8	0.16	7	0.14	87	1.71	117	2.29	3	0.25	29	2.42	-	-	-	-	1	0.07
山口県	-	-	7	0.14	13	0.27	83	1.69	1	0.11	16	1.78	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	9	0.39	1	0.04	20	0.87	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	1	0.03	1	0.03	41	1.28	91	2.84	-	-	3	1.00	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	2	0.05	18	0.46	79	2.03	-	-	19	2.71	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	16	0.52	36	1.16	27	0.87	-	-	10	3.33	-	-	-	-	-	-
福岡県	2	0.02	15	0.14	54	0.51	244	2.32	-	-	27	1.13	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	8	0.35	12	0.52	104	4.52	-	-	4	1.00	1	0.17	1	0.17	-	-
長崎県	2	0.04	10	0.21	10	0.21	30	0.63	9	0.90	19	1.90	-	-	-	-	-	-
熊本県	3	0.06	16	0.33	123	2.51	149	3.04	1	0.11	23	2.56	3	0.20	-	-	5	0.33
大分県	-	-	6	0.17	103	2.86	93	2.58	-	-	1	0.20	3	0.30	-	-	-	-
宮崎県	5	0.14	2	0.05	56	1.51	77	2.08	-	-	11	2.75	-	-	1	0.14	-	-
鹿児島県	2	0.03	5	0.08	45	0.75	64	1.07	-	-	14	2.33	-	-	-	-	-	-
沖縄県	4	0.12	4	0.12	45	1.32	70	2.06	-	-	8	0.80	-	-	-	-	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 平成13年19週

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻疹	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	66	0.14	4	0.01	33	0.07
北海道	1	0.04	-	-	3	0.13
青森県	-	-	-	-	-	-
岩手県	2	0.10	-	-	-	-
宮城県	6	0.50	3	0.25	-	-
秋田県	4	0.50	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-
福島県	1	0.14	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	1	0.11
千葉県	2	0.15	-	-	1	0.08
東京都	-	-	-	-	12	0.48
神奈川県	-	-	-	-	4	0.36
新潟県	2	0.15	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	1	0.20
石川県	1	0.20	-	-	4	0.80
福井県	1	0.17	-	-	-	-
山梨県	4	0.40	-	-	-	-
長野県	1	0.09	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-
静岡県	1	0.13	-	-	-	-
愛知県	2	0.15	-	-	-	-
三重県	1	0.11	-	-	-	-
滋賀県	2	0.29	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-
大阪府	2	0.17	-	-	-	-
兵庫県	1	0.07	1	0.07	1	0.07
奈良県	1	0.17	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-
鳥取県	13	2.60	-	-	-	-
島根県	1	0.13	-	-	-	-
岡山県	1	0.20	-	-	-	-
広島県	2	0.14	-	-	-	-
山口県	4	0.44	-	-	1	0.11
徳島県	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-
愛媛県	6	1.00	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	1	0.17
長崎県	-	-	-	-	1	0.07
熊本県	2	0.13	-	-	-	-
大分県	2	0.20	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	1	0.14
鹿児島県	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	2	0.29

感染症週報 第3巻、第19号 平成13年5月25日発行
 発行：国立感染症研究所
 厚生労働省健康局結核感染症課
 厚生労働省大臣官房統計情報部
 事務局：国立感染症研究所感染症情報センター
 〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1
 T E L : 03-5285-1111
 F A X : 03-5285-1129
 U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>
 <国立感染症研究所 感染症情報センター>
<http://www.mhlw.go.jp/>
 <厚生労働省>
<http://www.forth.go.jp/>
 <旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所)>

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。